

令和6年度第2回第18採択地区教科用図書採択地区協議会会議録

【日時】令和6年7月22日（月）

【場所】深谷市教育研究所 大会議室

【出席者】委員 片桐雅之、関根光男、島崎 祐子、久保田みずき、清水幸三郎、杉田佑美
事務局 染谷明信、塩川和之、雨宮大地、篠原剛、松島慎一郎、高橋真也、鳥塚源太郎
阿久津佳永、高橋寿和、坂本謙一郎

- 1 開会の言葉
- 2 会長あいさつ

議長	それでは、これから協議を始めます。事務局から本日の会議の進め方について、説明しますので確認をお願いいたします。
事務局	協議会の進め方について説明いたします。目録の順番に従い、国語から、各教科の調査員長に調査研究の内容を報告していただきます。その後、質疑応答を行います。各教科の報告は15分、質疑協議は5分、合計20分で行います。社会は、地図を含み30分程度とします。 選定は、3つの教科の協議終了ごとに投票で行います。最後は2つの教科の協議終了後に行います。 なお、要項では、本協議会は公開となっておりますが、傍聴に際しましては、録音、撮影等 はご遠慮ください。 また、要望書が届いておりますが、要望書の内容につきましては、委員の皆様にお伝えした とおりとなっております。 以上で説明を終わります。
議長	ご質問、ご意見はありますか。 それでは、各教科書の協議に入ります。進行に御協力お願いします。なお、投票により選定 を行いますが、その際、お配りのメモ用紙をご活用ください。 では、国語科の調査員長にお声がけください。
議長	ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。
調査員 長	これから、国語科の調査結果を報告いたします。よろしくお願いいたします。 国語科は、「東京書籍」「三省堂」「教育出版」「光村図書」の四つの発行者の教科書があ ります。 それぞれの教科書について報告する前に、4者の教科書に共通して言えることを報告いたし ます。 どの教科書も、各教材で、どの指導事項に係るどのような力をつけるのかを、学習者である

生徒に意識させ、「学び方」を学ばせるとともに、「主体的・対話的で深い学び」を強く意識した内容となっています。

また、ユニバーサルデザイン、特別支援教育への配慮、造本上の工夫等、細かな点に配慮した教科書となっていました。

それでは、各発行者の教科書について、特徴的な部分につきまして説明いたします。

なお、説明する順序は、「発行者番号」順といたします。

また、具体的な部分をお示しする際に教科書を使用したいと思いますので、各発行者の1年生の教科書をお手元にご用意ください。よろしくお願いいたします。

はじめに「東京書籍」です。

この教科書の大きな特徴は「言葉の力」を身に付けることを意識し、教材の配列や3学年の系統性で、「言葉の力」を自然と深めながら確実に定着する仕組みになっています。教科書の118ページをご覧ください。

この「私のタンポポ研究」は、「読むこと」の教材です。126ページをご覧ください。このページは、「私のタンポポ研究」の「てびき」です。「私のタンポポ研究」で身に付けさせたい「言葉の力」は、下段にある「事実と考えとの関係」です。この「てびき」に沿って学習を進めることで、「何を学ぶのか」が分かりやすく、生徒が取り組みやすい内容になっています。

128ページをご覧ください。「私のタンポポ研究」で学んだ「事実と考えとの関係」を生かし、この「意見と根拠」という教材で学ぶことで、学習が深められるようになっています。

130ページをご覧ください。この教材は、「書くこと」の領域の学習です。ここまで「私のタンポポ研究」で学んできた「読むこと」の力である「事実と考えとの関係」を生かし、「書くこと」の学習で生かせる流れになっています。

このように、教材どうしのつながりによって、身に付けたい「言葉の力」を自然と深めながら、確実に定着する仕組みになっています。

次に、「三省堂」です。

この教科書は、自ら学ぶ力を育て、確かな言葉の力を身に付けさせることを意識した仕組みになっています。

2ページの目次をご覧ください。上にある大きな数字「2」の中に「読み方を学ぼう①（説明文の基本構造）」とあります。5ページをご覧ください。上の大きな数字「9」の中には、「読み方を学ぼう⑧（語り手・視点）」とあります。これらの「読み方を学ぼう」①から⑧は、文章を正確に深く読むための方略・コツになっています。

一番最後のページ、裏表紙の内側をご覧ください。左側にあります「読み方を学ぼう一覧」は、中学校の3年間で22の具体的な読むコツを、教材文に合わせて学ばせていくようになっています。

44ページをご覧ください。こちらは、「読み方を学ぼうの①（説明文の基本構造）」を学ぶ教材です。「説明文の基本構造」を学ぶために、折込形式の見開きで、プレ教材「ペンギン

の防寒着」の全文が、一目でとらえられるようになっています。

注目すべき言葉や文章の構成がわかりやすく示され、説明文の基本構造をとらえることで、的確に内容を把握し、「読み方」を理解することができます。

この「読み方」を活用し、48ページから始まる「クジラの飲み水」を読めるように教材が配列されています。

54ページをご覧ください。こちらは、学習の手引きとなる「学びの道しるべ」です。「目標の確認」からプレ教材で確認した「読み方」を踏まえた「見通し」、読みを深めるための「考え方」、そして「学びの振り返り」という明確な学習過程によって、主体的・対話的で深い学びを実現できるように工夫しています。

次に、「教育出版」です。

この教科書の大きな特徴は、生徒が「学び方」を自覚的に習得し活用できるように、コラム「学びナビ」を教材の前に位置付け、教材を読み深めていくための視点や「学ぶ内容」を先に具体的に示していることです。

36ページをご覧ください。これは、「段落の役割」について学習する前に設けられた「学びナビ」です。37ページ下段の「ヒント」で示された視点で読むという見通しをもって、学習が進められるようになっています。

44ページをご覧ください。教材文の後に設けられた学習の手引き「みちしるべ」です。「学びナビ」で学んだことを生かして取り組める、「みちしるべ」の問いを示しています。「学びナビ」とリンクした課題を示すことで、学習者が自らの考えを形成し、深化、拡充させられるようになっています。

次に80ページをご覧ください。各学年にSDGsを扱った教材が設定され、現代の多様な課題と向き合い、対話を通して最適解を導く学習に、継続して取り組めるようになっています。

次に、192ページをご覧ください。「学びのチャレンジ」という問題形式の教材です。全国学力・学習状況調査やPISA調査などを踏まえ、多様なテキストを読み解き、表現する力を高められるようになっています。

最後に「光村図書」です。

この教科書は、学習の目的と資質・能力を明示することで、生徒が自ら学習の見通しをもち、主体的に考えて取り組める仕組みになっています。

見開きになっている6・7・8ページをご覧ください。評価の観点及び領域で教材がまとめられ、各教材で何に重点を置いて学ぶのか、見通しをもって学習が進められるようになっています。

裏の見開き9・10ページをご覧ください。場面や目的に応じた考え方や思考ツールが示されています。いつでもここに戻れば思考の手がかりが得られ、課題を解決したり自分の考えを深めたりすることができます。

54ページをご覧ください。「書くこと」の教材ですが、最初に「目標」が示され、続いて「集める・整理する」「組み立てる」「表現する」「振り返る」という学習過程が明示されていま

す。この教材では黄色く塗られた「集める・整理する」を重点に学習することを示しています。また、左側の55ページには、この学習で身に付けるべき資質・能力を「学びのカギ」として示しています。

このように見開きで右に学習の流れ、左に「学びのカギ」として身に付けるべき資質・能力を示すことで、学習過程や身に付ける言葉の力を把握でき、生徒は見通しをもって主体的に学習を進めやすくなっています。

次に、一番最後のページ裏表紙の内側、340・341ページをご覧ください。

ここには、タブレット端末やQRコンテンツの効果的な活用場面を一覧で示してあります。また、340ページには、QRコードの目次があり、興味・関心や課題に合わせて活用できるコンテンツが収録されております。

以上、4つの発行者の教科書につきまして、説明いたしました。

これで、国語科の調査研究報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。事務局より補足等ありますか？

事務局

深谷市、寄居町の中学校13校において、第18採択地区の子供たちにとってふさわしい教科用図書について、学校での調査研究の結果をあげていただきました。回答は複数回答でも可としたものです。従って回答数は13以上になっております。

学校調査結果について、目録順に読み上げます。

東京書籍0票、三省堂2票、教育出版5票、光村図書11票、以上でございます。

議長

委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。

委員

第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2者あげるとするならば、どこの発行者でしょう。

調査員
長

国語科の調査員で教科書の調査研究を行う中で、この地域の生徒たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者は、発行者番号順で言いますと「教育出版」と「光村図書」と考えました。その理由を1者ずつ述べさせていただきます。

はじめに「教育出版」です。

単元ごとに読み深めるためのポイントを教材の前に示す「学びナビ」があることで、生徒はあらかじめ学習内容のポイントをつかんだうえで、教材文に臨むことができ、見通しをもった学習活動を促すことができます。また、教材文の後ろにある「みちしるべ」では、個の学習に加え、学び合いができる工夫がされています。また、思考力、読解力を育成する「学びのチャレンジ」があることで、幅広い内容の学習に取り組めるようになっています。

2年生の古文『平家物語』では、身近な地域出身の熊谷次郎直実が登場する「敦盛の最期」が掲載されています。

また、「教育出版」は、現在使用している教科書であり、小学校でも使用されています。生

徒の立場からすると、小学校からの一貫性もあり、学びやすいと思われます。

また、教員の立場からすると、継続して採用されている教材が少なくないため、これまで積み重ねてきた教材研究を踏まえ、その上に教材研究を積み重ねていくことで、より深い教材研究となり、充実した授業につながると考えます。

次に「光村図書」です。

各教材の後ろには、「学びへの扉」が設定されており、目標、学習内容、学習活動、振り返りが示されており、見通しをもって学習を進めることができるようになっています。

言語活動においては、その充実を図るために、3年間を通して系統的に学べるよう配慮されています。「読むこと」と「書くこと」が意図的に結び付けられており、多面的な思考ができるようになっています。

また、資料編に「学びのカギ」一覧というものがあり、「文学的な文章を読むために」「説明的な文章を読むために」「豊かに表現するために」という項目ごとにまとめられており、1年間の学習を振り返り、生徒が主体的に学ぶことができる構成となっています。

同じく資料編に、「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」「学習の窓」が巻末にも一覧としてまとめられており、生徒が主体的に学ぶ際のサポートとなっています。

また、タブレットを利用して2次元コードを読み取ると資料だけでなく書くことのミニレッスンやC B Tで国語の力試しができ、学びたいことに合わせて内容を選べるようになっています。

以上のことから、「教育出版」「光村図書」の2者をあげさせていただきました。

議長

ほかに質問はございますか。

議長

それでは、協議に入ります。ご意見をお願いいたします。

議長

子供たちが学習を進める上で、学習の問いと答えがはっきりしていると、主体的な学びが展開できると思います。そのような観点から考えると、どうでしょう。

委員

生徒の疑問への答えがはっきりと表記されている発行者を強いて挙げるなら、教育出版だと思います。「言葉の地図」や「学びナビ」、学習の流れや学び方も良いと思いました。

議長

他に意見はありますか。

委員

全体的に、調査員長さんがお話になったように、学び方を学ばせる、話の見通しを持たせるという観点で2者選ぶとなると「教育出版」と「光村図書」が良いと思いました。「光村図書」はレイアウトに余裕があって、見やすい色彩でとても工夫されていると思いますが、若干ページが小さくて、見るのが苦勞しました。「教育出版」は、活動に入る前に見通しを持たせるという点がとても良いと思いました。

議長

他に意見はありますか。

委員

各学校の調査研究結果の報告は、「教育出版」と「光村図書」が多いですが、現在使われているのは「教育出版」であり「学びナビ」が良いと思いました。

議長

他に意見はありますか。他に無ければ協議を打ち切ります。

ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議長

それでは、次に、書写の報告をお願いします。

ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。

調査員

これから、書写の調査結果の報告をいたします。よろしくお願いいたします。

長

書写では、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の発行者全ての教科書につきましてご報告いたします。

まず、東京書籍の教科書ですが、基本単元を「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」の3ステップで構成していて、「書写のカギ」で基礎・基本のポイントを明確に示しています。また、単元の最初に「指でなぞって考えよう」で取り組みやすいように示しています。毎学年末に「書写テスト」を設定し、学習してきた内容を確認できるようにしています。

続きまして三省堂の教科書ですが、基本単元が「書き方を学ぼう」「書いて身につけよう」で構成され、「振り返ろう」で学習したことを意識して文字を書く欄や、学んだことを文章化して記録する欄を設け、定着しているかを確認できるようにしています。また、毛筆で学んだことを硬筆で生かせるよう書き込みページが設定されていて、生活の中で生かせるようにしています。

続きまして教育出版の教科書ですが、「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」の学習過程により学習の見通しを明確にしてあり、「試し書き」「まとめ書き」で授業内での自分の変化に気づけるように構成されています。教科書事態がA B版サイズで横幅が広く、また、基本単元が右側で文字をよく観察し、左側でポイントを確かめるという「見開き」で構成されていて、見やすく使いやすいレイアウトになっています。

続いて光村図書の教科書ですが、「考えよう」で、生徒が書き込んだり話し合ったりする課題を設定し、主体的に学習に取り組めるようにしています。また、「学びのカギ」で、学習のポイントがまとめられています。「書写ブック」で、毛筆で学んだことを普段使う硬筆で繰り返し練習を重ねることで、「書く力」を身に付けられるようにしています。

それでは、資料5ページ、東京書籍をご覧ください。併せて、教科書を使って説明いたします。

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>について、教科書の28ページをご覧ください。

ください。「書写のかぎ」で基礎的・基本的な知識及び技能の習得が図れるように明確に提示しています。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>については、48ページをご覧ください。1「見つけよう」で、硬筆で課題を発見し、2「確かめよう」で、毛筆で確かめ、3「生かそう」で、学習したことを他の文字で生かすという学習の流れで、見通しをもって主体的に学習できるようになっています。また、60ページをご覧ください。「生活に広げよう」で生活の場でどのように活用できるかを話し合うことで深い学びとなるように配慮してあります。

<学習効果を高めるための工夫>として、巻末の「書写活用ブック」は様々な書式の詳細が紹介され、必要に応じて確認することができます。

次に資料6ページ、三省堂をご覧ください。

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>について、教科書12ページをご覧ください。「書き方を学ぼう」でポイントをつかみ、学習内容を自覚し、18ページ～21ページにあるように「書いて身につけよう」では、毛筆で学んだことを他教科や日常生活で活用できるようにするために、硬筆で繰り返し書いて学びを確かなものとする定着を図っています。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>として、21ページをご覧ください。「書いて身につけよう」の振り返りとして、学習したことを意識して文字を書く欄や、学んだことを自分の言葉でまとめられるようにしています。

<学習効果を高めるための工夫>として、40ページなどのように習得したことを他の学習や生活に活用できるように書き込みページを多く設けて、日常生活に生かせるようにしています。

次に資料7ページ、教育出版をご覧ください。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>として、教科書30ページ、31ページの「考えよう」で、思考力を伸ばす話し合い活動や気づいたことを書き込む欄が設けられており、「生かそう」で判断力や表現力に結びつけています。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>として、基本単元に必ず「振り返ろう」を入れてあり、学習のねらいを意識し、何を身につけたのかを自己評価項目○△の記号で書き込み、自らの学びを確認できるようにしています。

<レイアウトの工夫>では、教科書がAB版サイズで横幅が広く、半紙での書字の配置がイメージしやすくなっており、中心点が常に示されています。また、44ページの右ページで文字をよく観察し、左ページで学習内容のポイントを確認できるような見開き完結型となっており、見やすく使いやすいレイアウトとなっています。

次に資料8ページ、光村図書をご覧ください。

<知識及び技能が習得されるようにするための工夫>として、教科書44ページをご覧ください。「学びのカギ」で学習のポイントがまとめられ、学習内容がひと目でわかるようになっています。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>では、78ページをご覧ください。「楷

書と行書の使い分け」、94ページの「文字の使い分け」では、目的や必要に応じた書体の選択について考えさせたり話し合わせたりする工夫が見られ、思考力、判断力、表現力を養えるようにしています。

<毛筆と硬筆との関連>について、教科書の最初のところに「書写ブック」というのがあり、毛筆教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を設定し、より多く練習できるようにしてあります。また、55ページの毛筆学習後に「生かそう」で、硬筆で書いて日常生活に生かせるような教材構成となっています。

以上、4つの発行者全ての教科書につきまして書写の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長 ありがとうございます。事務局より補足等ありますか？

事務局 学校調査結果について、目録順に読み上げます。
東京書籍0票、三省堂1票、教育出版8票、光村図書7票、以上でございます。

議長 委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。

委員 第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2者あげるとするならば、どこの発行者でしょう。

調査員長 書写調査委員会では、教育出版は調査委員全員一致で、また、光村図書、東京書籍が候補に上がっていました。

教育出版は、現在使用されている教科書ですが、他社と比べて、AB版の横幅が少し広くすることで、毛筆教材の半紙形を維持した手本となり、文字の配置や余白の取り方など、より実感した感覚で取り組みます。また、見開き完結型の構成でレイアウトが整っております。学習の進め方がわかりやすく全体的にバランスがよい教科書であると考えます。

光村図書は、書写ブックで毛筆で学習した文字の特徴を硬筆で書くことで、文字の整え方を学び、日常に生かすことができるような教材構成になっており、また、学習効果を高めるための工夫として、「トン・スー・トン」や「ぴょん・ぴたっ」などリズムや運筆を示すことで、無理なく親しみやすい表現を使っている点などがあげられます。

東京書籍は、毎学年末に「書写テスト」を設定し、学習してきた内容を確認できるようにしています。また、「生活に広げよう」という単元が6単元あり、書写で身につけた力を生活の場でどのように生かすかを考える思考力・判断力・表現力を高める設定をしている点があげられます。

議長 ほかに質問はございますか。

議長 それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。

委員	<p>子供たちにとっては、基本から活用までの学習過程で、学習事項が確実に定着できる教科書がふさわしいと思います。そのような観点から調査員長の説明をふり返ると、どうでしょう。</p>
委員	<p>どの教科書もとても見やすく作られていて、基本から活用までいい教科書だと思います。その中でも基本から発展、初めてやる子も上手な子も、どの子にとっても「教育出版」は試し書きして、最後にまとめ書きをして、一人一人の子供が、この時間で気づいたことや上手になったことが実感できることで、授業の流れの中で定着が図られるのではないかと思います。</p>
議長	<p>他にご意見はありますか。</p>
委員	<p>各学校の調査研究結果の報告では、「教育出版」と「光村図書」が多かったのですが、学習のねらいやポイントがまとまっていて、見やすいレイアウトなので、多かったのだと思いました。</p>
議長	<p>よろしいでしょうか。ありがとうございます。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。</p>
議長	<p>それでは、次に、社会・地図の報告をお願いします。 ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。</p>
調査員 長	<p>これから、社会科の調査結果の報告をいたします。よろしくお願いいたします。 まず、地理的分野です。4つの発行者全ての教科書につきましてご報告いたします。</p>
	<p>まず、『新しい社会 地理』東京書籍の内容についてです。 149ページをお開きください。雨温図の読み取り方など、地理の学習に必要な基礎的・基本的な技能を身に付けられる「スキル・アップ」のコーナーが設けられ、二次元コードから解説動画を見たり、シュミレーションで練習したりすることができるようになっています。 次に、資料についてです。 まとめのページでは、33ページ、ベン図、75ページ、マトリックス、101ページ、ステップチャート、127ページ、フィッシュボーンなど自らの思考を整理するさまざまなツールが用意され、紙の教科書とQRコンテンツを組み合わせることで、より多様な活動が展開できるよう工夫されています。 東京書籍 地理の教科書を総括すると、魅力的な写真や資料、こちらは60ページ、61ページです。が豊富に掲載され、生徒の学習意欲を高め、地理の視点から課題に向き合い、持続可能な社会の実現に向けて「これからの社会を生き抜く力」を育むように編修されています。 小学校の学びを活かし、中学校の学びがスタートでき、学校でも、家庭でも、学びを支える多様なQRコンテンツが用意され、紙とデジタルで学びがアップデートできるように工夫され</p>

ています。

つづいて、『 中学社会 地理 地域に学ぶ 』教育出版の内容についてです。

7 ページ、10 ページをご覧ください。個人やグループでの活動を通じて、地理の学習で身に付けたい技能を養う「地理の技」コーナーを設け、日本地図を描く、統計資料を使って表を完成させる、地形図から断面図をつくるなど、技能を磨く工夫がされている。また、二次元コードから技能の習得に有効な動画を見ることができるようになっています。

次に、資料についてです。

導入資料として、生徒の興味・関心を高め、学習のきっかけとなる写真・地図などを解説文である「LOOK!」こちらは63 ページです。とともに掲載しています。また、学習から興味や関心を広げていくコラム「地理の窓」を設けています。

教育出版地理の教科書を総括すると、「問い」を軸にして単元を通して課題解決的に学習が進められるように構成されており、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」をわかりやすく示し、基礎・基本が確実に身に付く紙面構成となっています。

社会への関心を高め、自ら行動していこうとする態度を涵養するページが充実しており、主権者として、社会参画の意識を高め、こちらは278 ページから287 ページです。ともに生きる力を育む教科書となっています。

つづいて、『社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土』帝国書院の内容についてです。

「ハザードマップを使って避難先を考えよう」こちらは150 ページ、151 ページなど対話を通して学びを深める「アクティブ地理」を新設し、全4テーマ、対話を通して課題に粘り強く向き合う姿勢や、他者との意見交換を通して合意形成を目指す態度を身に付けられるようになっています。

次に、資料についてです。

64 ページをお開きください。節の冒頭には「写真で眺める」を設置し、大きく鮮やかな写真から地域を概観する学習活動を通して、学習する地域に対する興味・関心を高め、学習の見通しを立てることができ、「主体的な学び」につながるよう工夫されています。

帝国書院地理の教科書を総括すると、問いを軸にした単元構成の構造化、こちらは48 ページ、によって、「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」が実現できるようにつくられている。また、理解しやすい本文と興味・関心を高める写真や資料により、意欲的に学びに向かう態度が育成されるように編修されています。

つづいて、『中学社会 地理的分野』日本文教出版の内容についてです。

216 ページ、217 ページをお開きください。「問い」に答える活動として「自分の考えをまとめよう」コーナーが設けられ、いくつかのステップに分けた活動を通して、思考力、判断力、表現力等を育成できるように工夫されています。

次に、資料についてです。

複数ページにわたります。75 ページ、164 ページ、165 ページをお開きください。生

徒の興味を引き、授業設計に役立つ様々な最新のトピック、新型コロナウイルス感染症、ロシアによるウクライナ侵攻を教科全体を通して紹介し、多様な地理的事象に対する理解を深められるよう工夫されています。

日本文教出版地理の教科書を総括すると、持続可能な社会に関連する内容が各所に掲載され、教科書全体を通して持続可能な社会について考えられるように工夫されています。

指導と評価の計画に基づいた教科書、教科書 QR コンテンツが充実した教科書、こちらは132ページ、278ページです。新しい時代を担う主権者を育てる教科書、教師・生徒がわくわくする教科書といえます。

以上、4つの発行者全ての教科書につきまして、地理的分野の報告を終わりにいたします。

つづいて、歴史的分野 です。

『新しい社会 歴史』東京書籍の内容についてです。

36ページ、37ページをお開きください。見開き1ページの内容を、導入資料→学習課題→本文→チェック&トライの流れで構造化しており、学習内容を確実に定着させようとしています。

次に、資料についてです。

本文を補完する資料を大きく掲載し、資料に付した図番号を本文にも付し、効果的に学習を進められるようになっています。

東京書籍歴史の教科書を総括すると、デジタルコンテンツが全体として豊富に用意されている。特にまとめの活動等で、生徒が自分で選択して活用できる思考ツールがデジタルコンテンツとして多数用意されており、個別最適な学びの実現につながっています。1時間の学習の流れや各章のまとまりが構造化されており、生徒にとっても教師にとっても扱いやすくなっています。

続いて『中学社会歴史 未来をひらく』教育出版の内容についてです。

68ページをお開きください。本文内に適宜設けられた「歴史の技」のコーナーは、小学校社会科の振り返りにあたる内容から中学校社会科で身に付けておくことが適切な技能の習得まで、幅広い学習内容の定着に役立つ。また、二次元コードを読み取ると、技能習得のための関連動画を視聴することができます。

次に、資料についてです。

各章のとびらのページでは、資料の読み解きを通して時代と時代を大まかに比較し、変化の理由を考えさせる活動により、「見方・考え方」を働かせたり、時代を体感したりする活動の定着を図っています。

教育出版の教科書を総括すると、

章ごとの内容のまとまりを踏まえ、各章の導入のページでは、資料を活用しながらこれから学習する章全体の内容を見通せるようになっている。これと対応する各章末の「単元のまとめと表現」では、図や語句を用いて整理する活動や章全体を貫く問いに応答する活動を通して、歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりできるように工夫されています。

歴史を身近に感じられる資料や内容を通して、生徒が社会的な課題を歴史の流れを踏まえて考察することができるページが充実しています。

続いて『社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き』帝国出版の内容についてです。

52ページ、53ページ、78ページ、79ページをお開きください。時代の冒頭には、その時代を生きた人々の様子が生き生きと描かれた「タイムトラベル」のページが、また、世界とのつながりが重視される單元には「世界とのつながりを考えよう」のページが設けられており、時代への興味・関心を高める工夫が見られます。

次に、資料についてです。

「タイムトラベル」は見開き1ページで掲載されているが、記号を使って位置を確認しやすくなっています。

帝国書院の教科書を総括すると、様々な今日的課題を、歴史学習を通して掘んだり、考察したりできるようなコラムや資料が充実しており、公民的分野との接続や、持続可能な社会の実現に向けての意識を高めることができよう工夫されています。

各時代の、様々な立場の人々の営みを大観することができる大判のイラストは、生徒にとって興味をもって眺め、考えることにつながり、各時代の学習に意欲的に取り組めるよう工夫されています。

『 中学歴史 日本と世界 』山川出版社の内容についてです。

52ページ、53ページをお開きください。豊富な資料と様々なパターンの発問により、生徒が歴史的な見方・考え方を働かせ、多面的・多角的に考える場面を多く設定しています。

次に、資料についてです。

二次元コードから拡大図や詳細な解説を見られる資料、73ページです。も多数掲載されており、資料を基に生徒がより深く考察することができる工夫が見られます。

山川出版社の教科書を総括すると、特に「高等学校との接続」を強く意識した内容・構成の工夫が見られた。歴史学習における史資料の重要性に気付かせるために多くの史資料を扱ったり、世界との中の日本という視点を持たせるために、世界史の内容を充実させたりする工夫がなされています。

因果関係を重視した詳細な記述により、本文の内容が多くなっています。そのため、1時間の授業と家庭学習とですべてを網羅して理解させることには工夫が求められますが、そのことが歴史的事象をより深く考察するきっかけを与えています。

『 中学社会 歴史的分野 』日本文教出版の内容についてです。

64ページ、65ページをお開きください。各章の導入ページ「学習のはじめに」では、資料を読み取る活動を通して単元を貫く問いを立てたり、学習を見通したりすることができるようになっている。また、何を学ぶかを捉えるための教材として、時代の前後を比較できる資料や年表・世界地図を読み取る活動である「トライ」を設けています。

次に、資料についてです。適宜、「資料活用」86ページです。のコーナーが設けられてお

り、必要な情報の読み取り等の資料活用能力の向上をサポートしています。

日本文教出版の教科書を総括すると、QR コンテンツが豊富で、生徒が興味をもって授業や家庭学習の様々な場面で活用することができるよう配慮されています。QR コンテンツには、章の導入や節ごとのまとめ、章のまとめに活用できるポートフォリオが収録されており、単元の構想の参考になるだけでなく、評価にも活用できるようになっています。

続きまして『新しい歴史教科書』自由社の内容についてです。

103ページをお開きください。各章末の「時代の特徴を考えるページ」では、別の時代との相違点等を、ポイントをしばってまとめさせたり、時代の特徴を一言でまとめさせたりする等の活動を多く取り入れている。また、どの問いにもまとめ方の例を示してあるため、誰でも取り組みやすくなっています。

次に、資料についてです。64ページをお開きください。古代の学習を終えた後に、「修学旅行で行く奈良と京都」という特集ページが設けられており、教科書本文に出てきた東大寺の大仏や平等院鳳凰堂について、さらに詳しく知ることができるように工夫されています。

自由社の教科書を総括すると、学習内容をさらに深めるコラムや特集ページが豊富で、我が国の歴史に強い興味・関心を抱いている生徒にも対応しています。日本という国名のおこりや、古事記・日本書紀の神話、天皇という称号が持つ意味、外国から見た日本の様子等を多く扱うことによって、特に我が国の伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度の育成に力を入れています。

続きまして『新しい日本の歴史』育鵬社の内容についてです。

81ページをお開きください。各単元の1時間当たりの内容が「つかむ→調べる→まとめる・表現する」という流れで統一され、この流れに沿って学習を進めることで基礎的な知識・技能を身に付けられる構成になっている。特に「確認」の活動により、基礎的な学習内容の定着を図っています。

次に、資料についてです。目次と各章の冒頭にある二次元コード、25ページです。からウェブサイトへ接続すると、学習内容に関連する動画の視聴や様々な情報を収集することができ、家庭での学習にも役立ちます。

育鵬社の教科書を総括すると、授業改善の助けになるように、単元のまとまりや1時間の授業の流れを意識した構成になっています。神話や和歌、建築、彫刻、浮世絵等、日本の伝統文化や現代に伝わる文化遺産に関する題材を豊富に取り上げており、日本の伝統文化や歴史を尊重する態度の育成を特に重視しています。

続いて『ともに学ぶ人間の歴史』学び舎の内容についてです。

80ページ、81ページをお開きください。生産に取り組み、懸命に働く人々、生活の困難を乗り越えようとする人々の姿を描き、沖縄やアイヌの人々の取組も具体化して描いており、生徒が正義と責任を重んじ、公共の精神に基づいて主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養う工夫がされています。

次に、資料についてです。35ページをお開きください。特設ページ「歴史を体験する」を設け、火おこしや糸紡ぎ等の体験を詳しく紹介したり、インターネットや博物館等を利用した調べ学習、体験者からの聞き取りやまとめ方、討論の方法等の学習の仕方を丁寧に説明したりしています。

学び舎の教科書を総括すると、多様な世界史教材があり、世界各地の人々の営みに目を向け、共存や連帯の意識を生み出すとともに、自国や地域を主体的に認識しようとする姿勢を培えるように工夫されています。全体を通して、疑問や問いが生まれやすいように図版や記述が工夫されている。また、主体的な学習を妨げないよう、本文の中の太字をなくす配慮がされている。歴史の中の女性に光を当てる、世界や東アジアから歴史を見る等、多様な視点で歴史を学ぶことができるように配慮されています。

続きまして、『国史教科書』令書の内容についてです。

6ページ、7ページ、8ページ、9ページをお開きください。世界各国王朝略年表や歴代天皇の皇位継承図を掲載する等、基本的内容の列挙にとどまらず、より高い知的探究を手助けし、歴史の真理を追い求める姿勢を育成するように工夫されています。

埼玉県に関する資料として、「稲荷山古墳の鉄剣」68ページです。「男衾三郎絵詞」132ページです。を取り上げています。

次に、資料についてです。460ページをお開きください。教科書の最後に「歴史小説・歴史漫画を読むときの注意」が設けられ、歴史小説や歴史漫画を読んだり、歴史物のドラマや映画を観たりすることで、歴史に対する理解が深まると同時に、すべてが歴史の事実ではないこと等の注意点が丁寧に書かれています。

令書の教科書を総括すると、本書は、我が国の光と影、その両面を学ぶことで我が国を愛し、他国を尊重することができる生徒が育つよう、また、自分自身こそが我が国の歴史の継承者であるということを自覚させ、現代と違うもの、変わらぬものを比較する力を養い、どの生活場面でも活かすことができるように構成されています。少数説もフォローし、幅広い知識を習得するために、多くの事実を科学的根拠・データを用いて説明しています。

以上、歴史的分野の報告を終わりにいたします。

つづいて、公民的分野 です。

『新しい社会 公民』東京書籍の内容についてです。

9ページをご覧ください。「みんなでチャレンジ」というコーナーでは、対話的な活動で学びを深める工夫がされており、他者の意見を取り入れ、自分の意見を調整していくことで主体的に学習に取り組む態度が養う工夫がなされています。

次に、資料についてです。

73ページをお開きください。「導入の活動」では、単元を貫く探究課題の場面設定を対話形式で分かりやすく提示している。「まとめの活動」では、単元の探究課題を再提示し、課題を解決させるような工夫がなされています。

東京書籍の教科書を総括すると、単元を通して、「課題をつかむ→課題を追究する→課題を解決する」構成になっており、課題解決的な学習を意図的に仕組み、段階を踏んで学習を進める工夫がなされています。持続可能な社会の実現に向けて、5つのテーマを重点課題とし、掲載資料に関連づけている。生徒が現代社会の諸課題と向き合い、主体的に解決に取り組む態度を育成することが期待できます。

続いて『 中学社会 公民 ともに生きる 』教育出版の内容についてです。

89ページをお開きください。「公民の技」というコーナーでは資料の読み取り方を補填することができ、公民の学習で身に付ける技能を養う工夫がなされています。「公民の技」の中にあるQRコードを読み取ることで、資料を詳しく見ることができ学習の補填もできます。

次に、資料についてです。見開き2ページで「導入資料」・「学習課題」・学習課題と対応した「確認/表現」といった学習の流れが分かりやすい本時ページとなっています。

教育出版の教科書を総括すると、SDGsとの関連を意識した構成になっている。学習の視点となるSDGsについて紹介するページが設けられているほか、ページ下部に本時に関連するSDGsマークが付いています。デジタルコンテンツが充実しています。「まなびリンク」は動画やクイズ、問題集など学習場面に応じて様々なコンテンツから選んで学習に活かすことができます。

続きまして『 社会科 中学生の公民 』帝国書院の内容についてです。

128ページをお開きください。「18歳の準備」では契約やライフプランなど18歳に向けて習得すべき実践的な知識を学べ、主権者としての社会参画の意義を高めさせる工夫がなされています。

次に、資料についてです。

写真やグラフ資料などが大きく見やすく記載されており、資料からイメージを喚起しやすくする工夫がなされています。

帝国書院の教科書を総括すると、「単元を貫く課題」「本時の課題」「問いの振り返り」が単元ごとに一貫して作られており、単元を通して課題解決的な学習ができる構成になっています。18歳選挙権を行使する生徒がいることをふまえ、主権者としての社会参画の意義をさまざまな面から理解できる資料が多く使用されています。

続いて『 中学社会 公民的分野 』日本文教出版の内容についてです。

138ページをお開きください。「明日に向かって～私たちの社会参画」というコーナーでは、地域社会への参画や消費者教育などについて考えるコラムが設けられており、生徒の社会参画を促す工夫がなされています。

次に、資料についてです。

13ページ、205ページ、10ページです。「新型コロナウイルス感染症」「ロシアのウクライナ侵攻」「AI」など最新のトピックに関する資料を随所に扱っており、学習意欲を喚起する工夫が見られます。

日本文教出版の教科書を総括すると、社会参画や持続可能な社会の実現に向けて、多面的・多角的に考察する教材が幅広く扱われており、主権者意識を高める作りになっています。デジタルコンテンツが充実している。「ポートフォリオ」「イントロダクションムービー」「確認小テスト」のコンテンツが277個用意されており、生徒の学習効果を高める工夫がなされています。

続いて『新しいみんなの公民』自由社の内容についてです。

84ページをお開きください。「もっと知りたい」というコーナーでは、現代社会の諸問題や本章で扱った事例を具体的に紹介し、発展的な学習につなげる工夫がみられます。

次に、資料についてです。218ページをお開きください。「ディベートをやってみよう」では、ディベート・フローシートを活用しながら議論のしかたを学習することで、議論を進めて深い考えに基づき合意形成ができるようになっていきます。

自由社の教科書を総括すると、天皇や憲法など特定の話題に関して、資料と本文ともに深い内容が扱われている。愛国心を高めることが意識されている教科書です。本文中の用語の解説が豊富に記載されているため、細かな用語の理解もできるようになっています。

続いて『中学社会 新しい公民教科書』育鵬社の内容についてです。

38ページをお開きください。章の冒頭ページに「どうして学ぶの？」というコラムが設けられている。なぜ学ぶのかを丁寧に解説したコラムにより、章の学習内容が自らの日常生活や将来にどのように役立つかが理解でき、意欲を高めることができます。

次に、資料についてです。21ページをお開きください。豊富な地域事例を通して、郷土の史跡、景観、特産物などを活用したまちづくりや村おこしなど、地域における様々な取り組みを紹介しながら、自らの住んでいる地域への興味や関心を高める工夫がなされています。

育鵬社の教科書を総括すると、「課題をつかむ」→「課題について調べる」→「課題についてまとめる・表現する」といった教科書の構成になっており、問題解決型の学習を進めることができる。教師も生徒も見通しをもって授業を進めることができます。

21ページをお開きください。豊富な地域事例や日本の伝統・文化に関する資料が多く紹介されており、日本や自らの住んでいる地域への興味や関心を高めることができます。

以上、6つの発行者全ての教科書につきまして、(公民的分野)の報告を終わりにいたします。

続きまして、「地図帳」の調査結果を報告いたします。

まず、『新しい社会 地図』東京書籍の内容についてです。

111ページ、99ページをご覧ください。資料活用コーナー「Bee's eye」では、地図の活用法や学習を深める「ヒントとなる問い」を提示している。1枚の図を見て取り組む問い、2枚以上の図を見て取り組む問い、図をもとに調べたり考えたりする問いなどを通じて、思考力、判断力、表現力が育成しやすくなっています。

次に、資料についてです。地理的分野をはじめ、歴史的分野や公民的分野の学習で活用できる主題図や資料を随所に掲載しており、3年間の社会科学習に活用できる。例えば、歴史に関連する場所を示す「歴史の舞台」が充実しており、歴史の授業において、地図上の空間の広がりを生かした展開をすることで、学習効果を高めることができます。

東京書籍の地図帳を総括すると、世界の経済・国際関係や日本の人口、SDGsをテーマとした特集ページなど、現代的な諸課題に関連する資料を掲載し、様々な諸課題についての理解を促しながら、今と向き合い、現代的な諸課題の解決に取り組める地図帳になっています。国際社会の結びつきや対立、環境問題、少子高齢化など、現代の諸課題に関連する資料を積極的に掲載し、三分野の学習に活用できる主題図が多くあります。

続いて、『中学校社会科地図』帝国書院の内容についてです。

41ページをご覧ください。学習活動を通して地理的な見方・考え方を働かせられ、地図活用の技能が身に付く問いのコーナー「地図で発見！」を全部で156問設けています。生徒が一人でも主体的に取り組めるような工夫があり、中には生徒同士の対話を意識した問いも入っています。

次に、資料についてです。136ページ、93ページをお開きください。地理的分野以外の学習でも活用できるように、公民的分野での活用に対応している主題図には「公」、歴史的分野での活用に対応している主題図のタイトル横には「歴」のアイコンを付けています。生徒が学習する際の、視点が捉えやすくなっています。

帝国書院の地図帳を総括すると、空間認識をともなった幅広い知識や教養が身に付くように、自然、産業、歴史など、様々な情報を地図上に見やすく掲載する工夫が見られます。地図から情報を読み取る力を身に付けられるように、地理的な見方・考え方を働かせられる問い「地図で発見！」を全部で156問設けている。生徒が主体的・対話的に学習に取り組める内容、表現となっています。

以上、2つの発行者全ての教科書につきまして、「地図」の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。事務局より補足等ありますか？

事務局

学校調査結果について、目録順に読み上げます。

地理的分野「東京書籍11票、教育出版2票、帝国書院5票、日本文教出版2票」

続きまして歴史的分野です。「東京書籍12票、教育出版2票、帝国書院4票、山川出版社0票、日本文教出版2票、自由社0票、育鵬社0票、学び舎0票、令和書籍0票」

続きまして公民的分野です。「東京書籍12票、教育出版2票、帝国書院4票、日本文教出版2票、自由社0票、育鵬社0票」

続きまして地図になります。「東京書籍5票、帝国書院12票」以上でございます。

議長

委員 社会の質疑・協議を行います。委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して質問はありますか。

調査員 第18採択地区の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげるとするならば、どこの発行者でしょう。

長 地理的分野では「東京書籍」と「帝国書院」です。

「東京書籍」は、基礎的・基本的な知識、概念や技能を身に付けながら、それらを基にして多面的・多角的な思考力・判断力・表現力を高める工夫が随所に織り込まれています。本書を学ぶ過程で「なぜ」という問いを立て、それにこたえる作業を通して、持続可能な社会の形成に参画する生徒を育成する工夫がされています。例として、東北地方244ページから255ページです。また、各単元のまとめとして、様々な思考ツール101ページ、127ページが使われていて、生徒が思考を整理しながら学びを深め、課題の解決に迫れるようになっています。

「帝国書院」は、地理的な「見方・考え方」を自然と働かせるように、写真や図版、本文を密接に関連させていて、地理的事象や因果関係を読み取りやすい構成になっています。持続可能な社会に向けて、生徒自身がどのように参画していくか発展的に考える場面も設定されています。また、デジタルコンテンツが充実しています。各章の最初のページに張り付けられている二次元コードを読み取ると、NHK for school のサイトにアクセスし、動画を見ることができます。

歴史的分野では「東京書籍」と「帝国書院」です。

「東京書籍」は、課題をつかむ「導入」―課題を追究する「展開」―課題を解決する「まとめ」という単元を構造化し、課題解決的な学習に取り組みやすい構成になっています。「まとめの活動」で、95ページの「クラゲチャート」、96ページの「Xチャート」、276ページの「ピラミッドランキング」等の、思考ツールを活用した多様な学習活動を紹介しています。また、デジタル教科書やデジタルコンテンツが充実しています。特に、生徒がつまづきやすい学習内容の理解を助けるために、「Dマークコンテンツ」が設けられており、QRコードを読み取ることで詳しい解説で、定着が図られるよう工夫されています。

「帝国書院」は、単元を貫く「章の問い」、各見開きの「学習課題」、節末や章末の振り返りなど、問いが構造化され、単元のまとまりの中で「深い学び」が実現できる構成になっています。時代の冒頭の、時代の様子が生き生きと描かれたイラスト「タイムトラベル」26ページ、27ページです。は、興味・関心を高めるのに効果的です。それだけでなく、歴史的な見方・考え方を働かせられる視点を示すなど、使い方が多岐にわたるよう工夫されています。

公民的分野では「東京書籍」と「帝国書院」です。

「東京書籍」は、学習のまとまりごとに「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」という学習段階を進めていくことで、問題解決的な学習を促す構成になっています。ま

た、各時間における「社会的な見方・考え方」が示されていたり、まとめの方法が難易度別に2段階になっていたりと、生徒が学習に取り組みやすいつくりとなっています。33ページのダイヤモンドランキング、あるいは216ページのくらげチャートなど、様々な思考ツールを使って、思考の整理を促すようにしています。長年のノウハウを生かしたデジタル教科書は、教師用も生徒用も多くのコンテンツを持ち操作性に優れています。

「帝国書院」は、各章のまとめに「アクティブAL」というコーナー、42ページです。があり、その章で身に付けた現代社会の見方・考え方をつかったまとめや意見交換を促すよう工夫されています。「アクティブ公民」のコーナー、39ページです。で、章で学んだことを生かした話合いの題材を多く提案しており、身近で起きている事例から実感できるよう工夫されています。また、デジタル教科書の併用で、生徒にとって視覚的に分かりやすい授業が展開しやすくなっています。以上です。

議長

ほかに質問はございますか。

議長

それでは、これまでを踏まえて、社会の協議に入ります。ご意見等お願いします。

委員

まず地理的分野ですか、どの教科でもそうですが、写真や図、グラフなどの資料が大きく、多く掲載されていると、子供達の興味・関心を強く引くと思います。そのような観点からみていくと、どうでしょう。

委員

子どもの興味関心をひくという観点は重要だと思います。

そういう観点で各教科書会社を見ますと、「東京書籍」は資料が数多く掲載されていると思います。

委員

歴史的分野を考えると、課題をつかむ段階、課題を追究する段階、課題を解決する段階、というように、学習の流れが段階的になっていると、子供たちの理解が深まると思う。こうした観点から調査員長の説明をふり返ると、どうでしょう。

委員

「東京書籍」それから「教育出版」は、導入で複数の資料が用意されています。課題解決的な学習で、子供達にとっても取り組みやすいと思いました。

委員

公民的分野ですが、ウェビングマップやクラゲチャートなど、様々な思考ツールを使って、多様な学習活動を展開しているという観点で言うとうどうでしょう。

委員

探究を進める上で、思考ツールは有効であると思います。「東京書籍」それらを上手に使用している。子供達が自分の考えをまとめるときに、楽なように、話合いが活発になるように使われていると考えました。各学校の調査研究結果の報告でも「東京書籍」多いので良いと思いました。

議長	<p>ありがとうございました。ここで、社会科の協議を打ち切ります。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。</p>
議長	<p>地図について御質問はございますか。</p>
委員	<p>今、使用している「地図」は帝国書院ですが、どちらの地図もよくできていると思います。若干色合いが違ってもと思います。子供達は地図を使い慣れていますが、使い勝手についてはどうですか。</p>
調査員 長	<p>帝国書院の地図帳は、地形が捉えやすいように、等高段彩表現に陰影表現を合わせた、より立体感のある色合いになっています。また、大判化により、地図をより広範囲に見ることで事象を捉えやすくなっているうえ、軽量化を図っており、大変、使い勝手がよいです。また、地図は、見やすいこと、読み取りやすいことが、大切と考えます。教科書での学習に対応した「主題図」「資料」かどうか。あるいは「地図帳の使い方、地図の読み取り方」などの説明が分かりやすいかということもあります。</p>
議長	<p>それでは、これまでをふまえて協議に入ります。ご意見等をお願いいたします。</p>
委員	<p>地図は、立体感のある色合いだと、子供たちにとって視覚的にイメージしやすいと思います。この観点からすると、どうでしょう。</p>
委員	<p>どちらも大変工夫をこらした地図帳だと思います。より分かりやすく、子供達が地形をイメージしやすいのは「帝国書院」だと思いました。立体感がとても出ているところが特徴だと思いました。</p>
委員	<p>「帝国書院」には各所に「地図で発見」が配当されています。これからの教育では、思考力・判断力・表現力の育成が重要視されていますが、そこにつながるすばらしい内容だと思います。</p>
議長	<p>他に意見はございますか。</p> <p>ありがとうございました。ここで、地図の協議を打ち切ります。</p> <p>調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。</p>
議長	<p>それでは、これより選定に入ります。なお、選定は投票によるものとなっております。投票の仕方について事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>投票について説明いたします。本規約第11条、「各委員が選定すべきと考える教科用図書に投票を行い、過半数の投票を得たものを選定する。」より行うものです。</p>

投票により

- ・過半数を得た教科書を選定します。
- ・3票ずつ2者に割れた場合は会長が決めます。
- ・過半数を得なかった場合は上位2者で再度投票を行います。
- ・上位2者が選べない場合は会長が2者を決め、再度投票を行います。
- ・再度投票の結果、過半数を得た教科書を選定します。
- ・投票数が同票の場合は、会長が決めます。

以上が選定に係る投票の説明となります。

このあと、事務局が投票用紙を配付いたします。

お手元に、投票用紙が配られましたら、その発行者の中から1者を選び、ボールペンで○をお付けください。○以外は無効票となりますので、お気をつけください。その際、先ほど用いたメモ用紙を参考に○をお付けください。なお、後ほど、事務局が投票箱をお持ちしますので、投票用紙を1回折ってお入れください。

議長

ただいまの説明につきまして、質問はありますか。

議長

それでは、投票を行います。事務局は準備願います。

議長

それでは、開票結果について、事務局から報告願います。

事務局

開票いたします。

国語 教育出版 書写 教育出版 社会地理 東京書籍 社会歴史 東京書籍
社会公民 東京書籍 地図 帝国書院

国語 光村図書 書写 教育出版 社会地理 東京書籍 社会歴史 東京書籍
社会公民 東京書籍 地図 帝国書院

国語 教育出版 書写 教育出版 社会地理 東京書籍 社会歴史 東京書籍
社会公民 東京書籍 地図 帝国書院

国語 教育出版 書写 教育出版 社会地理 東京書籍 社会歴史 東京書籍
社会公民 東京書籍 地図 帝国書院

国語 教育出版 書写 教育出版 社会地理 東京書籍 社会歴史 東京書籍
社会公民 東京書籍 地図 帝国書院

国語 教育出版 書写 教育出版 社会地理 東京書籍 社会歴史 東京書籍
社会公民 東京書籍 地図 帝国書院

以上でございます。

事務局

国語、書写、社会、地図の開票結果をご報告いたします。

国語、東京書籍0票、三省堂0票、教育出版5票、光村図書1票。

書写、東京書籍0票、三省堂0票、教育出版6票、光村図書0票。

議長	<p>社会科地理的分野、東京書籍 6 票、教育出版 0 票、帝国書院 0 票、日本文教出版 0 票 社会科歴史的分野、東京書籍 6 票、教育出版 0 票、帝国書院 0 票、山川出版社 0 票、日本文教出版 0 票、自由社 0 票、育鵬社 0 票、学び舎 0 票、令和書籍 0 票 社会科公民的分野、東京書籍 6 票、教育出版 0 票、帝国書院 0 票、日本文教出版 0 票、自由社 0 票、育鵬社 0 票 地図、東京書籍 0 票、帝国書院 6 票。 以上でございます。</p>
議長	<p>それでは、確認致します。 国語科につきましては教育出版が 5 票ということで過半数を得ましたので、国語科は教育出版を選定いたします。 書写につきましては教育出版が 6 票ということで過半数を得ましたので、書写は教育出版を選定いたします。 社会科地理的分野につきましては東京書籍が 6 票ということで過半数を得ましたので、社会科地理的分野は東京書籍を選定いたします。 社会科歴史的分野につきましては東京書籍が 6 票ということで過半数を得ましたので、社会科歴史的分野は東京書籍を選定いたします。 社会科公民的分野につきましては東京書籍が 6 票ということで過半数を得ましたので、社会科公民的分野は東京書籍を選定いたします。 社会科地図につきましては帝国書院が 6 票ということで過半数を得ましたので、社会科地図は帝国書院を選定いたします。</p>
議長	<p>ここで休憩時間をとります。 事務局は、会議の再開時刻を連絡してください。</p>
事務局	<p>会議の再開時刻を、11時40分とします。</p>
議長	<p>それでは再開いたします。それでは次に、数学科の報告をお願いします。 ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。</p>
調査員 長	<p>これから、数学科の調査結果の報告をいたします。よろしく願いいたします。 数学科では、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教出版、7つの発行者の教科書があります。目録順に、発行者全ての教科書につきましてご報告いたします。 それぞれ 2 年生の教科書で報告させていただきます。 まず、東京書籍の教科書です。 東京書籍の教科書は、必ず身に付けたい問題が明確に示され、基礎・基本の定着を大切にしていることが伺えます。SDG's や他教科と関連した問題も多数用意されており、全国学力・</p>

学習状況調査で通り扱われるような活用問題も授業等で取り組むことができるよう工夫されています。問題の難易度をマークで示したり、取り組んだ問題をチェックする箇所を設けたり、個に応じて取り組むことができるよう配慮されています。

主な特徴について2年生の教科書で説明いたします。

14ページ、15ページをご覧ください。問1、2や問3の一部の問題などに、必ず身に付けたい問題としてハートマークが示されています。

36ページ、37ページをご覧ください。「章のとびら」では、日常生活の場面を数学の世界と結び付け、生徒の関心・意欲を引き出す工夫がされています。

50ページ、51ページをご覧ください。大切にしたい見方・考え方を示し、数学の学習における生徒自身に気付かせたいことを優しく示す工夫がされています。

179ページ、181ページをご覧ください。「四分位範囲表と箱ひげ図」の学習では、コンビニエンスストアのリアルデータを用いた教材となっており、実社会での経験につながるような教材となっています。また、188、189ページにあるようにマーケティングアナリストのインタビューがデジタルコンテンツとして用意されています。

次に、大日本図書の教科書です。

身近な問題に取り組み、既習事項を関連づけ、数学的な見方・考え方を働かせ、「わかった!」「できた!」という理解や発見、数学的な対話を通して、豊かな数学の授業になることを目指しています。より豊かな学習になるように、登場人物や資料にも異文化理解の視点を取り入れたり、他教科との関連を示したりしています。

主な特徴について、2年生の教科書で説明いたします。

7ページから9ページをご覧ください。巻頭の「数学の世界へようこそ」で自分の考えを持ち、仲間と考えを伝え合い、わかりやすく説明し、振り返る学習の流れが示されています。

18ページから21ページをご覧ください。生徒が基礎・基本的な力を習得することができるように、「活動」→「例・例題」→「たしかめ」→「Q」→「プラスワン」と習熟度の差に応じた問題が用意されています。

176ページ、177ページをご覧ください。「データの活用」の領域では、PPDACの統計的探究プロセスに沿って学習を進めることができるよう、工夫されています。

巻末の折り込みをご覧ください。2年生の数学の学習の概要を家庭や後の学習で振り返ることができるよう、折り込み資料が用意されています。

次に、学校図書の教科書です。

数学と実生活、中学校と高校、1年生と2年生の「つながり」への工夫がされています。また、問題解決までの手立てや方針、視点が細かく記述されており、QRコードによる支援が充実しており、さらにチャットボットによる生徒の自由な質問に対応できるようになっており、生徒が家庭学習でも使いやすくなっています。

主な特徴について、2年生の教科書で説明いたします。

6ページから8ページをご覧ください。ノートを使い方や数学における記述の仕方などを丁

寧に示すとともに、2年生の学習する領域ごとに、1年生での学習を確認する「ふりかえり」が示されています。

64ページから66ページをご覧ください。「章のまとめの問題」では、基本、応用、活用の3段階に分類され、習熟度に応じて取り組めるよう工夫されています。

218ページから236ページをご覧ください。「見方・考え方」をまとめよう、表現する力を身につけようなどが示され、主体的・対話的で深い学びを深めることができるよう、生徒が学習の流れの理解を深めるような工夫がされています。

巻末をご覧ください。折り込みとして「図形の性質」をまとめたものや、デジタルコンテンツではなく自身で実際に活用する教具などが用意されています。

次に、教育出版の教科書です。

「章のとびら」では、数学への興味・関心を高めるように、実社会や日常生活から数学に関わる問題が設けられています。インタビューから数学の有用性や利便性を実感できるように工夫されています。解法を一度確認してから問題に取り組むことができるように、「問」の前に「たしかめ」が設けられています。

主な特徴について、2年生の教科書で説明いたします。

12ページ、13ページをご覧ください。各章のはじめには、その章での学習にかかる既習事項が示されるとともに、日常生活や実社会で利用されている事例が取り上げられています。

61ページから63ページをご覧ください。章の利用の問題では、例題について考え方、解答が順を追って示され、のちに自身で取り組む問へのヒントとなるよう工夫されています。

100ページ、101ページをご覧ください。協働的な学びで理解を深めるため、その課題となる問題を示すとともに、学びのプロセスを示す工夫がされています。

182ページをご覧ください。各章の最後には、その章で学んだことを確認、深めるための「学習雨のまとめ」が用意されています。

次に、啓林館の教科書です。

導入からの、例・例題→問→練習問題の流れが丁寧に組み立てられています。どこまでが例なのかなども丁寧に示されているので、生徒が自身で学習する際にも把握しやすく、デジタルコンテンツが豊富であり、QRコードからのタブレットの活用にも便利です。生徒が主体的に学ぶための工夫がされています。

主な特徴について、2年生の教科書でご説明いたします。

14ページから17ページをご覧ください。「例・例題」→「問」→「練習問題」と授業展開と生徒の学習に隔たりがないよう工夫されています。また、学習に係る前学年の内容が示されるとともに、誤答例なども示されています。

32ページから35ページをご覧ください。「章末問題」では多数の問題が用意され、QRコードを活用することで、家庭でも生徒自身で取り組める工夫がされています。

89ページから91ページをご覧ください。ステップ123をもとに学習を進め、説明しよう、ひろげようと案内が示され、問題を発見し解決して、さらに深める力を身につけるための

工夫が見受けられます。

巻末をご覧ください。2年生の学習を振り返る資料がまとめられているとともに、ここでもQRコードを活用して、1年生の学習まで振り返ることができるよう工夫されています。

次に、数研出版の教科書です。

対話的活動を要とした構成となっており、数学的な見方・考え方が身に付くよう工夫されています。練習問題も「確認問題」、章末の「問題A」、「問題B」、「活用問題」と段階的に設けられています。デジタルコンテンツも充実しており、生徒が自ら進んで学習できるように工夫されています。

主な特徴について、2年生の教科書で説明させていただきます。

11ページをご覧ください。各章のはじめには、その章で学習するために必要な既習事項の確認があり、章の学習に取り組みやすいよう工夫されています。

29ページから31ページをご覧ください。生徒が課題を解決していくために必要なプロセスが、対話形式で示され学習を進めやすくする工夫があり、例題の解答例も最後まで丁寧に記載されています。

47ページから51ページをご覧ください。教科書に記載されたQRコードでは、全国学力・学習状況調査に関して国立教育政策研究所へのリンクとなっていたり、補充問題としてweb上で取り組むことができるような工夫があります。

242ページから249ページをご覧ください。1年生での学習と2年生での学習を領域ごとにまとめて示し、2年生終了時までの学習を振り帰ることができる工夫がされています。

最後に日本文教出版の教科書です。

「めあて」や「問題」が示され、1時間の授業の流れを把握しやすいレイアウトの工夫がされています。活用問題には解決の流れが示され、「対話シート」や「振り返りシート」を活用しながら、自分の考えを整理できるように工夫されています。また、問題ごとに視点や観点が示されています。

主な特徴について、2年生の教科書でご説明いたします。

4ページから11ページをご覧ください。2年生の学習を進める前に、数学の学習で目指すことや各章の前に「次の章を学ぶ前に」が示され、既習事項をもとに学習を積み重ねていくことを意識させる工夫がされています。

146ページから148ページをご覧ください。「めあて」でどんなことを学習するのかを明確に示し、例、問、章末の練習問題と学習をどの領域でも同じように進めていくことができるよう配慮されています。それぞれの問題に応じたQRコードを活用することで、家庭でも学習することができるよう工夫されています。

245ページから260ページをご覧ください。振り返りシート、対話シートが用紙され、該当の領域の学習で、主体的・対話的で深い学びを実現するための協働的な学習を意識した教材が用意されています。

議長	<p>以上、7つの発行者全ての教科書につきまして、数学科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。事務局より補足等ありますか？</p>
議長	<p>学校調査結果について、目録順に読み上げます。 東京書籍9票、大日本図書2票、学校図書0票、教育出版2票、啓林館10票、数研出版1票、日本文教出版0票、以上でございます。</p>
議長	<p>委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。</p>
調査員	<p>第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげるとするならば、どの発行者でしょう。</p>
長	<p>数学科の調査員で調査研究を行う中で、この地域の子どもたちにとって、よりふさわしいと思われる発行者は、「東京書籍」と「啓林館」と考えました。</p>
議長	<p>「東京書籍」の主な理由は、各領域で必ず生徒が身につけたい基礎・基本的な問題にハートマークが示されるとともに、問題や章末問題に取り組んだことをマークするチェック欄があり、生徒自身が自分自身の学習の状況を確認できるという点です。また、ある程度まとめて示されているデジタルコンテンツも、生徒が授業中や家庭学習で取り組むことができる便利さがあります。</p>
議長	<p>「啓林館」の主な理由は、いずれの領域においても、重要事項や考え方、前学年での学習との関連がわかりやすく示されており、生徒自身で学習を進めたり、振り返ったりすることが容易な構成になっていることです。また、デジタルコンテンツも豊富な点が挙げられます。</p>
議長	<p>ほかに質問はございますか。</p>
委員	<p>それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。</p>
	<p>子供達の学びを進めていく上では、どういう所でつまづくのか、どういうところに注意したらよいか、より細部まで配慮されている、学びに配慮されているという教科書が、第18採択地区の子供たちにとって、ふさわしいと思います。この観点から考えると、どうでしょう。</p>
	<p>きめ細やかな指導が大事だと思います。そういう視点からすると、「東京書籍」は、必ず身に付けなければならない問題が明確に示されて、フラッシュカードやチェックする項目などで示されていてきめ細やかだと思いました。それから「啓林館」はQRコードも充実していますし、小学校の内容も含めて既習事項を確認できるページから、各単元の確認ができるページなどその子その子の力に応じて進められるので、きめ細やかな指導ができると思いました。</p>

委員

子供達が既習事項を確認しながら、自分自身の学習を安心して進められるということが、自信につながって、意欲的に勉強できると思います。子供達が既習事項を確認できるという観点では、いかがでしょう。

委員

既習事項の確認という観点で言えば、「啓林館」が全学年で振り返りができるという点が良いと思いました。

議長

その他、意見はございますか。

ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は 退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議長

それでは、次に、理科の報告をお願いします。

ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。

調査員

長

これから理科の調査結果を報告いたします。よろしく願いいたします。

中学校理科部会では、「東京書籍」、「大日本図書」、「学校図書」、「教育出版」、「啓林館」の5社の教科書について、調査研究を行いました。

中学1～3年生の3学年分5社の計15冊の教科書について検討しましたが、本日は2年生の教科書を参考事例として活用しながら報告させていただきます。

それでは、それぞれの教科書について、「内容」、「資料」、「表記・表現」、「総括」という順で報告いたします。

まず始めに、「東京書籍」についてです。

「内容」は、各節が、探究の流れとして、問題発見、課題、仮説、実験・観察、分析解釈、検討改善、結論、振り返り、活用という流れになっており、探究の過程を経て学習を積み重ねていく工夫がなされています。16ページ第1節ホットケーキの秘密というところをご覧になると、その流れを確認できます。また、探究の過程における学習の流れが左ページの下にフローチャートで示してあり、生徒自身が今、探究のどの過程の段階で学習しているか確認できる工夫がなされています。また、課題に対する結論を自分の言葉で書き、思考力や表現力を育成する場面、19ページの下段です。そこではキーワードを提示することで、一人一人が取り組み易くなっています。

「資料」は、デジタルコンテンツの活用が有効な場面では、各学年200以上のコンテンツ「タイトル付きのQRコード」が示され、17ページ、29ページにそのQRコードが示されています。このQRコードにはタイトルがついているため、どのようなデジタルコンテンツなのか確認して、活用することができます。コンテンツは、教科書内の図版に加え、映像資料やシミュレーションなども収録され、科学的概念や現象を視覚で捉えることができ、学習の定着にも効果的で、定着度が低い内容においても家庭学習の助けとなっています。

「表記・表現」は、本文にユニバーサルフォントを使用し、重要語句や式は太字を使用しています。20ページをご覧ください。中1ギャップに対応できるように、1年生の文字サイズは大きくなっています。

「総括」としては、構成や図版が大きく、巻頭で理科と日常生活との関連や探究の流れ、教科書の使い方について示しており、各単元の内容の関連性も教材の入手時期を考慮して配置されています。QRコードを掲載し、多様なコンテンツとその使いやすさ、全体として見開き1時間のレイアウトで探究の流れが見える工夫がされているため、授業の見通しを立てやすくなっています。「生徒目線」「身近な疑問」から探究がスタートし、生徒の思考へのつながり、科学の有用性を学ぶことができる構成になっています。

続きまして2者目の「大日本図書」について報告します。

「内容」は、単元末の「課題を見つけて解決しよう」や「自由研究にチャレンジしよう!」を通し、探究活動へ誘うよう工夫されています。「課題の把握」「探究」「解決」各単元末に「まとめ」「単元末問題」「読解問題」が掲載され、2年生の教科書には74ページから78ページにその内容が掲載されています。知識の定着を確認する流れになっています。特に3年生の教科書の巻末では1～3年の基礎的な内容を確認できる「学習のまとめ」が掲載され、高校入試への対応が意識されています。「基本操作」については、巻末にまとめられており、復習しやすい構成となっています。

「資料」は、学習内容に関連する多様なコラムを多数掲載し、41ページに掲載されています。科学を学ぶ意義や有用性を伝え、学習意欲の啓発に努めています。

「表記・表現」は、ユニバーサルデザインフォントを使用し、全領域を通して統一した色使いを意識しています。1年生の本文や囲み資料は2・3年生よりも大きくしたり、発展的な内容を精選して最小限にとどめたりするなど、発達の段階に考慮しています。

「総括」としては、巻頭で学習の進め方や教科書の使い方などを示すことで、学習の流れを理解し見通しをもって探究し、主体的・対話的な学習ができます。単元末には探究活動があり、72ページに掲載されています。単元を通して1つの課題に取り組むことができます。また、技能webコンテンツを繰り返し確認することで、基礎技能の定着が図れます。

続きまして3者目の「学校図書」について報告します。

「内容」は、各授業における「この時間の課題」とその解決に迫るための科学的な「見方」「考え方」について具体的な記載があり、思考を深める一助となっています。観察・実験の場面において、できるようになりたい目標を示した『Can-Do-List』を掲載し、7ページをご覧ください。目的意識をもち観察・実験に取り組むことができるように工夫されています。観察・実験では、大きな写真を用いて詳細で丁寧な説明がされています。QRコードを読み込むことで、基本問題だけでなく、実験器具の基本操作動画、アニメーションなどのデジタルコンテンツを利用することができ、家庭学習に有用と考えられます。

「資料」では、例えば「化学変化と原子分子」の始めページに特殊な顕微鏡の写真に掲載するなど、単元の始めに、魅力的な写真を載せ、学習意欲を喚起するための工夫がなされています。

す。図版を大きめにレイアウトし、視覚的な情報が得やすくなっています。

「表記・表現」として、サイズが大きめのユニバーサルデザインフォントをし、紙面デザインをシンプルにすることで、紙面からの圧迫感が少なくなっています。

「総括」として、軽量化のために内容が厳選されている一方で、記載の観察実験数は多くなっています。コラム等の記載を削減し、QRコードにより、コンテンツから参照できるようになっています。各ページのQRコードからミライ教科書を活用でき、これは、デジタルコンテンツとともに多様な読み方や多言語に対応しており多様化する生徒への配慮がされています。

続きまして、第18採択地区で今現在使用されております4者目の「教育出版」について報告いたします。

「内容」は、巻頭に「探究の進め方」が折り込みとして閉じられており、探究の流れを確かめながら学習に取り組めるよう工夫されています。各章の最初に既習事項が示されるとともに各節に「課題」と「結論」が明記されています。また、単元のまとめには有用語句や基本事項が確認できるよう「要点と重要語句の整理」や「基本問題」が設けられています。さらに巻末資料には実験器具等の基礎操作を「基礎技能」としてイラストで分かりやすくまとめてあり、知識及び技能を習得するための工夫がなされています。

「資料」は、ゆとりをもったレイアウトで本文や図、イラストが掲載され、わかりやすく構成されています。また、教科書の内容と関連のあるコンテンツを集めたウェブサイトである「学びリンク」、22ページの『学びリンクマーク』をご覧ください。があり、QRコードから活用することができます。マークを使い他教科と連携して学習できるように工夫がされています。165ページの湿度計算をご覧ください。

「表記・表現」は、本文はユニバーサルフォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック体で表されています。特に、重要語句には明るい橙色が用いられ、視覚的にもわかりやすく示されています。

「総括」としては、基本的な内容が丁寧に押さえられていて、「要点をチェック」「要点と重要語句の整理」「基本問題」「活用問題」「学年末総合問題」と5段階のステップで学力を定着させる構成となっています。「基礎技能」などがまとめられていて、基本的な知識・技能が定着できるよう配慮されていて、QRコンテンツの充実と要点と用語への習得の工夫が見られます。

続きまして、5者目の「啓林館」について報告いたします。

「内容」は、章の導入に、「つながる学び」を設け、既習内容を確認でき、QRコードからのコンテンツにより既習内容を確認できるよう工夫されています。各単元に1つ「探Q実験」を設定し、探究の過程に主体的に取り組めるよう工夫しています。その際、巻末の切り取りシート「探Qシート」により生徒の活動をサポートできるよう工夫されています。単元末には『みんなで探Qクラブ』が設定されており、65ページの「生パイナップルを使ったゼリーが固まらないのはなぜ？」をご覧ください。授業で得た知識をもとに探究活動が実践できるようになっています。また、単元末の「学習のまとめ」において、新出用語の新出ページが明記してあ

り、整理しやすくなっています。こちらは60ページから61ページをご覧ください。

「資料」は、QRコードが豊富に用意してあり、多様なデジタルコンテンツを見て活用し、授業内容を深めることもでき、家庭学習するときにも確認で見ることができます。理科の有用性を感じるコラムも多く掲載されています。

「表記・表現」は、重要語句が本文の中でも非常に目立つフォントを使用しており、非常にわかりやすくなっています。生徒の写真やイラストは、男女の役割は固定せずに、互いに協力しながら活動できるように配慮されています。

「総括」としては、QRコードによる様々なコンテンツが利用できるため、多様な学習が可能となっています。図・資料・文のレイアウトがとても見やすくストレスなく目を運ぶことができます。コラムが多く、内容に関する興味関心を喚起する工夫がなされています。また、ふり返しシートをQRコードで読見取ることができ、「学ぶ前にトライ!」「学んだ後にリトライ!」「Review ふり返ろう」などが1枚のポートフォリオになっており、自身の学びを整理することで、主体的な学び、自身の成長を実感できる工夫があります。

以上、5つの発行者全ての教科書につきまして、理科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。事務局より補足等ありますか？

事務局

学校調査結果について、目録順に読み上げます。

東京書籍11票、大日本図書0票、学校図書0票、教育出版5票、啓林館3票、以上でございます。

議長

委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。

委員

第18採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者あげるとするならば、どの発行者でしょう。

調査員

長

理科調査委員会では、「東京書籍」「啓林館」「教育出版」がよりふさわしいと考えました。

「東京書籍」は、探究的な展開が基本となった学習内容に構成されているため、生徒の日常生活から問題を発見し、探究の過程に沿って学習を進めることができます。ページ下部にはフローチャートが示され、教師、生徒共に見通しをもって取り組むことができます。また、デジタルコンテンツを効果的に活用するために、効果的な場面にタイトル付きQRコードが掲載されています。単元末の問題では、活用型の問題も設定され、全国学力学習状況調査等の問題にも対応しており、国が求める、思考力や表現力が身に付くように工夫されています。

「啓林館」は、探究的な学びを重視し、デジタルコンテンツが非常に豊富です。教科書の随所に用意されたQRコードから、映像や音声、画像などにリンクしているため、家庭学習において、実験観察や基礎操作復習など、主体的に学習を進めることができます。実社会や実生活

と理科とのつながりが「科学コラム」で紹介され、理科の学習の有用性と科学の魅力を伝える工夫もなされています。1枚のポートフォリオで、学びを整理できる構成になっており、自身の成長を実感できる力を育成する工夫があります。

「教育出版」は、基本的な内容が丁寧に抑えられていて、本文と図版や写真がゆとりをもって配置されています。重要語句は、色付きの太字で表記されており、視覚的にも捉えやすいため、特別支援教育の視点からも配慮がなされています。また、「要点をチェック」「要点と重要語句の整理」「基本問題」「活用問題」「学年末総合問題」と5段階のステップで繰り返し学習して知識、技能を身につけられる構成になっています。

議長

ほかに質問はございますか。

議長

それでは、質疑を終了し、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。

委員

理科は、探究的の過程を大事にして、問題解決能力の育成につながるように構成されていることが望ましいと思います。このような観点で調査員長の説明をふり返ると、どうでしょう。

委員

私も、探究的な過程が子供達にとって大事だと思います。そのような観点で言いますと、「教育出版」では「活用しよう」や「考えよう」で自分の言葉で話し合ったりまとめたりする活動が取り入れられていて良いと思いました。

議長

見通しを持って探究するという観点で言えば、教育出版は、探究の進め方や構成について、「学びリンク」を活用できる点が良いと思いました。

議長

ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議長

それでは、次に、音楽科の報告をお願いします。

ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。

調査員

長

教育出版社、教育芸術社、2者の発行者全ての教科書につきましてご報告いたします。

2者に共通して言えることは、新学習指導要領の趣旨を捉え、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、学びのポイントを示したり、音楽の特徴や気づきを記入する欄の工夫や、仲間との交流を通して学習を深めたりするための工夫がされています。

また、教科書に示されているQRコードにアクセスし、教科書の内容にリンクした動画や音声などを視聴、閲覧ができるようになっており「音」を扱う教科ならではの学びを支える工夫がされています。

それでは各社の具体的な調査報告に移ります。発行者番号の順でご報告いたします。

具体的な部分をお示しする際に教科書を使用したいと思いますので、各発行者の「2・3年生下の音楽」・「器楽」の教科書をお手元にご用意いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

初めに教育出版社です

「音楽のおくり物 中学音楽2・3年下」の8・9をご覧ください。各教材の学習目標や具体的な活動が「学習マップ」として示されております。これにより、生徒が見通しをもって主体的に学ぶことができ、学びを深めるための発展的な学習も可能となっています。また、各領域の「学びのユニット」を地域や学校、生徒の実態に応じて構成できるよう配慮されており、学習指導要領の内容を適切に取り扱えるよう工夫されています。

9ページをご覧ください。各教材での学びを定着させるため、学習目標、学習活動、新しく学習する用語等が見開きで掲載されており、1時間ごと、単元ごとに学ばせる内容が明確になっています。また、【学習の進め方 how to study】では、生徒の実態に合わせ、より確かな学びや、発展的な学習へつなげることができる構成となっております。

28ページ、29ページをご覧ください。「My Merody」は、音楽の構造を理解し、気づいたことを書き込む欄や、その考えを基に「話し合おう」での協働的な活動により、さらに思考を深める工夫がされ、主体的・対話的で深い学びの実現に向かう工夫がされています。鑑賞教材についても同様に、聴き取ったり感じ取ったりしたことを記入し、対話的な活動につなげることができ、「My Create」では、作品として創作活動ができるため達成感のある確かな学びが期待できるよう工夫されています。

特に、29ページ創作教材では、活動内容と具体の活動をわかりやすく示され、手順を追っていくことで、系統性や発展性を踏まえた、体験的な学習活動が展開できる内容となっています。

また、音楽文化と豊かに関わるために、42ページからの尺八の鑑賞と能、謡、長唄の表現活動と関連付け、56ページのように音楽の共通性と固有性を比べながら、音楽の多様性に気付かせる工夫がされています。さらに、発達段階に応じてアジアから諸外国の音楽文化へと発展させ、理解を深めています。

音楽活動の基礎的な能力を伸ばすため、各領域に関わる単元をまとめて配列し、段階を経ながら、学び合い活動が展開できるよう工夫されています。

続いて「音楽のおくりもの 中学器楽」です。

6ページ目次をご覧ください。扱う楽器の配置が、リコーダー・篠笛・尺八の「吹く楽器」、ギター・箏・三味線の弾く（弦楽器）楽器、太鼓・打楽器と楽器の構造になっており、楽器の演奏技術を習得するだけでなく、我が国や諸外国の文化の理解を意図した教材配列の工夫がされています。

器楽と鑑賞との関連を図り、楽器の共通性と固有性を考えさせ、気づきを基に話し合う活動につなげるこうした学習活動により、生徒の思考力、判断力、表現力を促し、深い学びへとつなげる工夫がされています。

総括として、表現と鑑賞のバランスのよい学習をめざし、学習内容の関連が図られ、主体的・協働的な学びに向けた発展教材も明記されており、学校の実態に即した指導ができるよう工夫されています。巻末の折り込み資料では、多様な情報を見渡せ、学ぶ楽しさを広げています。

続きまして教育芸術社の教科書についてです。

現行の教科書については教育芸術社のものが第18採択地区で使用されています。

最初に「中学生の音楽2・3年下」8、9ページをご覧ください。年間の学びを見渡せる「学習内容」には、それぞれの教材を通して、何を学び、どのような音楽の力を身につけられるのかが見て取れ、生徒自身が見通しを持ち、主体的に学ぶことができる工夫がされています。

9ページをご覧ください。生徒が意欲をもって主体的に学習が進められるよう、各教材での「何を学ぶか」という学習目標を明示し、具体的な学習活動、音楽的な見方・考え方を働かせるための視点となる「音楽を形づくっている要素」が一目でわかるよう示されています。更なる用語の説明が96ページに各自で確認ができるような工夫があり、各自の学びを確実にしてくれます。

各教材では、「思考、判断、表現」を深めるためのヒントを吹き出しで示し、思考した内容を記述する場面が設定されています。また、生徒が意見を交流し、学びを深めることができるよう工夫され、主体的・対話的で深い学びの実現のための紙面構成となっております。

42ページからは、我が国の音楽文化を尊重する態度を育むため、幅広い分野から教材を取り上げ、音楽のみならず文化的な側面からも捉えられるよう工夫されています。また、実際に音楽の一部を体験する内容や、54ページ、56ページのように同世代の取り組みを知り、生徒が興味・関心をもち学習に取り組めるよう設定されています。

66ページ「生活や社会の中の音楽」では、学年に応じたテーマを設け、音や音楽が生活や社会、文化とどのように関わり、どのような意味や価値があるかについて、生徒が意識的に考えるページが新設されています。学習で得た音楽経験や知識を生活に生かし、音楽と豊かに関わっていくための資質・能力の育成への工夫がなされています。

続きまして、中学生器楽についてです。

各楽器とも、平易な練習曲から学習を進め、豊富なアンサンブル曲により学習した内容を生かしながら表現を深め、アンサンブルの楽しさを味わう配列の工夫がされています。また、歌唱、創作、鑑賞の各学習活動との関連も配慮されています。17ページのように、「学びのコンパス」では、表現活動を通して、思考力・判断力を育む場面が設定されています。

4ページの「音楽ってなんだろう？」では、音楽の本質を考えさせる内容や、71ページからのバンドのスコア、102ページのギターのコードフォームやキーボードに対応したコード表を資料として掲載することで、卒業後の音楽活動を意識し、器楽学習を通して音楽と豊かに関わっていくことを重要視しています。

総括として、「つながる」をキーワードとし、音楽活動を通して生徒同士、生徒と社会等、様々な学びをつなげ、自ら考える力を引き出す工夫がされています。また、多彩なジャンルを

取り上げ、卒業後も生徒が音楽と豊かに関わるための内容が重視され、伝統音楽の記述の充実や和楽器の奏法の写真の見やすさにより、様々な音楽を身近に感じる工夫がされています。

以上、2つの発行者すべての教科書につきまして、音楽科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。事務局より補足等ありますか？

事務局

学校調査結果について、目録順に読み上げます。

音楽一般 教育出版3票、教育芸術社13票

続きまして器楽合奏 教育出版3票、教育芸術社13票、以上でございます。

議長

委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。

委員

今、使用しているのは教育芸術社であり、子供達も使い慣れていると思いますが、その使い勝手はもう一者と比べるとどうですか。

調査員

長

教育芸術社の使い勝手のよさを2点申し上げます。

1点目は、生徒の実態に即しているという点です。選曲のねらいが明確で、発達段階に応じて生徒が意欲的に取り組める楽曲が掲載されています。歌唱教材では、歌詞や楽曲内容が生徒の心情的な発達に沿っており、音楽の要素との関連を図りながら表現を工夫する活動へとつなげやすい教材が選択されています。鑑賞教材についても、学年の進行に合わせて系統的に配置され、小学校からの9年間の学びのつながりが考慮されています。器楽でも生徒にとって魅力的な曲が豊富に掲載され、生徒が主体的に取り組める選曲となっています。

2点目は、音楽科において育成を目指す「生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力」の育成を意識しているという点です。音楽の授業で学んでいること、学んだことの意味や価値などを生徒自身に意識的に考えさせるページが新設されています。例えば、66ページでは、伝統音楽のみならず、世界とのつながりに触れ、SDGsの視点での学習を進めたり、3年生では、音楽とSDGsとの関わりを紹介しています。1つ目は、世界各地で音楽教育を支える「青年海外協力隊」や支援スタッフとして働く日本人の活動、2つ目は音楽に欠かせない楽器の製造における森林伐採についての環境問題への企業の取組などです。

音楽の持つ、人々の思いをつないだり誰かを勇気づけたりする力を、音楽活動を通して実感できるようになっている点が、新学習指導要領の改訂の趣旨に沿った内容であり、使い勝手のよい、ひいては生徒の学びの深まりへとつながると考えます。

議長

ほかに質問はございますか。

議長

それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。

委員	音楽は、どうしてこの曲を選んだのか、この曲を通して何を身につけさせたいのか、選曲のねらいが大切だと思います。このような観点から考えると、どうでしょう。
委員	どうしてこの曲を選んだのか、何をその曲から学んでいくのかが明確なのは、「教育芸術社」だと思います。
委員	どちらの教科書も素晴らしい内容だと思いますが、発達の段階に沿っていて、分からない世界、和楽器の世界や歌舞伎の世界などについても関心を持って接していこうという工夫がされているのは「教育芸術社」だと思いました。
委員	音楽は、人と人の思いをつないだり、勇気づけたりする教科であるということを、活動を通して実感できることが大切だと思います。この点について「教育芸術社」の方が良いと思います。
委員	各学校の調査研究結果の報告は、2分野とも「教育芸術社」が多く、子供達や先生方にとって使いやすいのだと思います。
議長	ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。
議長	それでは、投票を行います。事務局は準備願います。
議長	それでは、開票結果について、事務局から報告願います。
事務局	開票いたします。 数学 啓林館 理科 教育出版 音楽一般 教育芸術社 音楽器楽合奏 教育芸術社 数学 啓林館 理科 東京書籍 音楽一般 教育芸術社 音楽器楽合奏 教育芸術社 数学 啓林館 理科 教育出版 音楽一般 教育芸術社 音楽器楽合奏 教育芸術社 以上でございます。
議長	それでは、開票結果について、事務局から報告願います。
事務局	数学、理科、音楽一般、音楽器楽合奏の開票結果をご報告いたします。 数学 東京書籍0票、大日本図書0票、学校図書0票、教育出版0票、啓林館6票、

議長

数研出版 0 票、日本文教出版 0 票

理科 東京書籍 1 票、大日本図書 0 票、学校図書 0 票、教育出版 5 票、啓林館 0 票

音楽科一般、教育出版 0 票、教育芸術社 6 票

音楽科器楽合奏、教育出版 0 票、教育芸術社 6 票、以上でございます。

それでは、確認致します。

数学科は啓林館が 6 票ということで過半数を得ましたので、数学科は啓林館を選定いたします。

理科は教育出版が 5 票ということで過半数を得ましたので、理科は教育出版を選定いたします。

音楽科一般は教育芸術社が 6 票ということで過半数を得ましたので、音楽科一般は教育芸術社を選定いたします。

音楽科器楽合奏は教育芸術社が 6 票ということで過半数を得ましたので、音楽科器楽合奏は教育芸術社を選定いたします。

議長

ここで昼食・休憩時間をとります。事務局は、会議の再開時刻を連絡してください。

事務局

会議の再開時刻を、13時30分とします。

議長

それでは再開いたします。美術の報告をお願いします。

ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。

調査員

長

これから、美術科の調査結果を報告いたします。よろしく願いいたします。

開隆堂、光村図書、日本文教出版の発行者全ての教科書につきまして、ご報告いたします。

はじめに、開隆堂出版についてご報告します。

開隆堂は3年間で2冊の教科書を使用する形をとっています。まず、目をひくのが表紙です。鮮やかな色彩の題材を用い、なおかつ、凹凸によって作品の材料や質感を表現するとともに、触って楽しむこともできる、美術の楽しさが伝わってくる表紙になっています。

また、1年生の使用する「美術1」では、小学校図画工作との接続を大切にし、やさしい言葉で、表現や鑑賞の美術で学習する内容が理解できるようになっています。2・3年生が使用する「美術2・3」では、巻頭に人気マンガと美術の関係をとりあげながら、美術を学ぶ意味を生徒に伝えようとしています。巻末には中学校美術科の学習を振り返り、美術と社会の繋がりについて考えるページが用意されており、美術の学習で学んだことが、これからの生活にどうつながっていくのかを意識させる内容となっています。

全体を通して、印象的な写真を大きく使った広がりのある紙面構成となっており、生徒の豊かな発想を手助けする工夫がされています。生徒の活動している様子や考えるポイントも示されており、生徒自身がこの教科書をもとにして、どのように主題を生み出し、構想を練ってい

けばよいか、わかりやすく、示されています。

さらに、各題材に関連した巻末の「学びの資料」によって、さらに深く知識・技能を理解できるように工夫されており、QRコードによるインターネット資料も豊富で、活用しやすい構成となっています。

内容で目をひいたのは、1年の9ページです。有名なアニメーション監督である新海誠さんを取り上げ、絵画表現へとつなげています。また、2, 3年80ページのつながるデザインや次のページからの幼児が登場するページです。今日的課題であるSDGs、共生を意識した題材が取り上げられ、そうした課題に美術がどう関わっていくのかを考えさせる構成となっています。

全体的に、生徒の美術への興味・関心が高まるような工夫が見られ、生徒が造形的な見方・考え方を楽しく働かせ、主体的に取り組めるように工夫されています。結果として、教師が教えやすく、生徒が使いやすい教科書に仕上がっている教科書です。

次に、光村図書についてご報告します。

光村図書も3年間で2冊の教科書を使用します。1年生の教科書「美術1」では、生徒を主役とした写真や生徒の撮影した写真を用いて、楽しみながら小学校図画工作から美術への接続が理解できるように工夫されています。2・3年生の教科書「美術2・3」では、「太陽の塔」の拡大写真と谷川俊太郎さんの詩を組み合わせ、たいへん強い印象を残す見開きページを構成しています。続くページでは、SDGsを取り上げており、社会における美術の果たす役割をわかりやすく伝えようとしています。

全ての題材に目標が示されており、学習を進める手助けとなっている構成は他社と同じですが、その内容がより具体的でわかりやすいのが本書の特徴です。鑑賞の問いかけや、形や色彩・材料について着目すべき「POINT」が示されている所や、QRコードを利用した動画や資料も、直感的でわかりやすい操作で視聴できるように工夫されている所など、生徒の主体的な学びを支える工夫が随所に見られます。こうした構成は、生徒が授業の流れを理解したり、制作の見通しが立てたりしやすく、題材の説明も、「語りかけの口調」で表現するなど、学習に向かう姿勢が作りやすい教科書であると感じました。巻末には、〔共通事項〕や技能に関わる資料、美術史に関わる資料などが掲載された「学習を支える資料」が用意されているほか、技法に関する解説をまとめた別冊資料も用意されるなど、大変充実しています。

内容で目をひいたのは、2, 3年27ページからです。日本の絵画を扱った題材ですが、和紙のような風合いのある用紙を使用し、作品の質感に近づけようとしています。イラストを用いた鑑賞のヒントも学びを深める上で効果的に使用されています。

美術1資料の9ページでは、安全上の注意事項が、黄囲みでたいへん目立つように示されています。これらは、生徒が学習を進める上で注意すべき内容として強調されているだけでなく、指導する教員にとっても大切なポイントであり、評価できます。

全体的に参考作品や資料等がよく整理されており、明確な構成とあわせて、見やすく、授業の流れがつかみやすい教科書となっています。題材の配列も、表現と鑑賞の一体化を図りながら、深く理解し学習できるように工夫されており、今日的課題も多く取り上げられています。

社会の中で「美術」が果たす役割や、美術で学んだ力がどう生かされるのかも示されるなど、美術を身近に感じられるような工夫が随所に感じられます。教員にとっては授業の流れが作りやすく、生徒にとってはわかりやすい教科書であると思います。

次に、日本文教出版についてご報告します。

日本文教出版は、3者中唯一、3年間で3冊の教科書を使用する形となっています。学習指導要領では2・3年の内容を一括して示していますが、新学習指導要領に「発達の特性を考慮して内容や一つの題材にあてる時間を検討すること」と示されていることから、3分冊にしており、それぞれの学年ごとのねらいを副題として示しています。

3分冊にしたことにより、総ページ数は201ページと、3社中、最も多くなっています。その中で、3年分の題材が、発達段階をふまえ、系統的に学習が進められるように工夫されています。

全体を通じて、鑑賞と表現の一体化を図った構成となっており、各題材の冒頭には、ヒントとなる問いがなされ、学びの目標が示されており、主体的に学習を進める手立てを示すことで、思考力・判断力・表現力等が育つよう工夫されています。内容的には、知識や理論の学習に偏らないように、3年間を通してバランスの良い学習ができるよう、題材が配列されており、キャリア教育の視点や平和・人権教育など美術でつながる現代的な諸課題も取り上げています。

また、学年ごとの導入で取り扱う見返し部分には、シンガーソングライターの荒井由美さんや、タレントの所ジョージさんが登場し、それぞれの視点で美術とかかわるヒントを語っています。生徒の興味・関心を高め、美術と社会の関わりを示す、わかりやすい構成であると感じました。

題材の取り上げ方の工夫としては、1年の表紙・見開き『グランドジャット島の日曜日の午後』や、2，3年上の表紙・見開き『凱風快晴』、2，3下の25ページ『誕生』など、作品の細部を紹介し、作者の息遣いまで感じられるような紙面を作っています。

他にも、本物の屏風のように両観音開きで展開する『風神雷神図屏風』など、見え方を工夫した鑑賞資料が用意されています。

また、2，3上の49ページ「デザインの力でできること」では、深谷市親善大使でもあるパラリンピアン高桑早生（たかくわ さき）さんの使用する障害者スポーツ用義足が、高桑さんの競技する姿と共に紹介されています。

3者の中で唯一3冊に分かれており、実際に使用する生徒の立場に立った編集が行われていると感じました。生徒の興味や学ぶ意欲を引き出す仕掛けが数多く用意され、レイアウトも工夫され、カラフルで大胆な紙面構成となっています。

中学校3年間を通して、表現に必要な技法を身につけ、美術の社会における役割について理解できるよう工夫されており、生徒の学ぶ意欲に応えることができる教科書だと考えます。

以上、3つの発行者全ての教科書につきまして、美術科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

事務局	<p>ありがとうございました。事務局より補足等ありますか？</p>
議長	<p>学校調査結果について、目録順に読み上げます。 開隆堂出版 8 票、光村図書 4 票、日本文教出版 2 票、以上でございます。</p>
委員	<p>委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。</p>
調査員 長	<p>第 18 採択地区内の子供にとって、よりふさわしいと思われる発行者を 2 者あげるとするならば、どこの発行者でしょう。</p> <p>3 者の教科書とも、学習指導要領の趣旨を踏まえた魅力ある教科書だと思いますが、編集の方向性や今日的課題にどのくらいの重きを置いたか、という点では差異が感じられました。</p>
議長	<p>これまでの、オーソドックスな構成を採用しつつ、学習指導要領に沿い、主体的な学びに対応し、学びやすく教えやすい教科書となっているのが開隆堂です。QR コードを利用したコンテンツも充実しており、どのキャリアや年代の教員が授業で使用しても扱いやすい教科書だと考えます。</p>
議長	<p>新鮮な構成と新しい題材を取り上げ、ベテラン美術教師にとっても教える意欲を高める教科書が光村図書だと感じました。授業の流れがわかりやすく、QR コードによって参照できる資料も充実しており、特にその扱いやすさや内容の広がりという点では、他社をリードしていると思います。</p>
委員	<p>前回の改訂で、印刷技術や様々な新しい仕掛けで、ベテランの美術教員も驚くような教科書を作った日本文教出版は、今回、ほぼ同じ構成を踏襲しつつ、細部に指導要領の趣旨を生かした資料や親しみやすさを前面に出した構成となっています。</p>
委員	<p>それぞれに魅力のある 3 者でしたが、本地域の生徒の状況を考えると、美術に興味を持っている生徒だけでなく、全ての生徒にとってわかりやすい教科書であること、そして、主体的な学びに対応できる内容であり、充実した資料が用意されている教科書がふさわしいと考えます。</p> <p>以上のことから、3 者の中では、開隆堂と光村図書をあげたいと思います。</p>
議長	<p>ほかに質問はございますか。</p>
委員	<p>それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。</p>
委員	<p>子供たちにとって、学習の内容、ねらいがわかりやすく、授業の流れをつかみやすい教科書がふさわしいと思います。このような観点からすると、どうでしょう。</p>
委員	<p>授業の流れをつかみやすい教科書として見ますと、教師にとっては教えやすい教科書になり</p>

委員

ますし、生徒にすれば使いやすい教科書だと思います。その点で言えば、「開隆堂出版」だと思います。調査員長がおっしゃったように、生徒作品が大切に扱われており、教師が教えやすく生徒が使いやすい視点から考えるとやはり「開隆堂出版」だと思います。

議長

「開隆堂出版」は現在使われている教科書であり、子供にも扱いやすい教科書だと思います。また、表紙の凹凸によりなじみやすい教科書だと思います。

議長

美術ということでどの発行者も工夫をこらしていますが、教える側がどの世代でも教えやすいと考えたときに、みなさんがおっしゃるように「開隆堂」が使いやすいと思いました。

議長

ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

調査員

次に、保健体育の報告をお願いします。

ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。

長

これから保健体育の調査結果を報告させていただきます。よろしくお願いいたします。

保健体育科では、4つの発行者の教科書があります。東京書籍、大日本図書、大修館書店、Gakkenの順で報告いたします。

はじめに、東京書籍について、説明いたします。

基礎的・基本的な学習から知識が習得できるように工夫されています。

144ページ、145ページをご覧ください。1時間の学習の流れを「見つける」→「課題の解決」→「広げる」としていて黒色のマークで示しています。その学習の流れの中に「学習課題」「本文冒頭のクエスチョンマーク」また「活用する」といった活動が用意されています。本文のすぐ右側に資料を配置させるレイアウトは、生徒が主体的に学ぶことができるように工夫されています。

冒頭に「学習課題」が、短くわかりやすい文を用いて明示されています。発問形式で示され、学習のねらいも捉えやすくなっており、この課題が、学習を進めていくなかで解決され、知識として習得できる学習の流れで紙面が構成されています。

また、学習の冒頭に「キーワード」として重要語句を示し、本文でも同様に太字で示すことによって、基礎基本の定着を図っています。キーワードと本文の太字には、フリガナがふられ、さまざまな学習者への配慮もなされています。

課題解決的に学習を進める中で、思考力・判断力・表現力等が育成されるように構成されています。

143ページをご覧ください。感染症が広がるさまざまな条件の学習の前に、クエスチョンマークの問いが設けられています。右のグラフ、資料を読み解きながら、思考力・判断力を養うことができるように工夫されています。

学習の最後には、「広げる」として、学習した内容を日常生活に活かしていくことができるようにするための提案や問いかけ、課題学習の提示があり、さまざまな表現力を養う活動が用意されています。

デジタルコンテンツ・資料等を活用して、健康・安全についての理解を深める内容が充実しています。

143ページをご覧ください。ページの最後に、二次元コードが掲載されています。学習内容を深める・広げるためのさまざまなデジタルコンテンツが用意されています。

160ページをご覧ください。学習のまとめでは、この章で学んだ内容の確認問題や、関連する内容のワークシートなどが二次元コード内に用意され、適宜扱えるようになっています。また、健康や安全に関する資料は、各章の最後に設けられた資料編とは別に、巻末にまとめられています。

次に、大日本図書について、説明いたします。

基礎的・基本的な学習内容を理解できるような紙面の構成になっています。

72ページ、73ページをご覧ください。このように、各項目の見開きの左ページには本文、右ページには関連資料という分かりやすいレイアウトで統一され、1単位時間は、基本と見開きの2ページで構成されています。

「学習のねらい」で、学ぶべき学習課題が示されており、生徒も学ぶ目的を明確にして学習を進めることができます。

課題解決学習を通して、思考力、判断力、表現力等が育成されるように構成されています。

87ページをご覧ください。

各章の学習の最後には「学びを活かそう」という課題解決型の学習活動が用意されています。さまざまな課題が設けられていて、主体的に、対話的に課題を解決していくことで、思考力・判断力・表現力を育成していく学習活動になっています。

「章末資料」には、学習内容に関する豊富な資料や補足、説明があり、理解を深める工夫がされています。

84ページ、85ページ、86ページをご覧ください。本文中に示された「リンク」マークが「章末資料」と関連付けられており、豊富なイラストや写真の資料で理解を深めることができます。こうした資料には、学習内容に関連するものや補足の説明が示されており、理解を深め、知識を広げることができます。

また、各章の「学習のまとめ」には、学んだ内容を確認し、整理することなどで活用できる「まとめの問題」がウェブサイト上に用意されています。

次に大修館書店について、説明いたします。

基礎的・基本的な学習から知識が習得できるように工夫されています。

140ページ、141ページをご覧ください。

1時間の学習の流れを「課題をつかむ」→本文で「身につける・考える」→「学習のまとめ」の3つのステップの学習の流れで統一されており、すべての学習内容が見開きで完結され

ています。見通しをもって学習が進められ、教師も授業展開がしやすい構成になっています。

「課題をつかむ」では、これまでの経験や、小学校で学んだ内容を思い出しながら、気づきや思考を促す効果的な発問が用意されており、生徒の関心や意欲を高め、学びへの意欲を喚起させる工夫がされています。

「きょうの学習」では、ここで学ぶ内容を示し、重要語句をキーワードで示しています。本文でも同様に太字で示し、基礎基本の定着を図っています。キーワードと本文の太字には、フリガナがふられ、さまざまな学習者への配慮もなされています。

本文の見出しは「①感染症は病原体が原因となって起こる」のように、学習内容の要点を示す表現になっています。生徒が学習内容を明確にしなが、知識を習得できるように工夫された表現となっています。

また、導入・本文・資料との区分けがしっかりされていて、分かりやすいレイアウトになっています。このページでは、新型コロナウイルスの写真も加わり、新しい内容が多く扱われているのも、大修館書店の特徴です。

生徒に知識としてしっかり習得させたい学習内容、今日的課題を扱った資料が充実しています。

41ページをご覧ください。性に関する学習「コラム」で SNS での被害を注意喚起しています。96ページをご覧ください。スマートフォン・SNS を使用する際の、健康への影響が解説されています。109ページをご覧ください。ネットワーク利用犯罪の例から正しい知識を学びます。被害が低年齢化している性犯罪も扱っています。177ページをご覧ください。SNS での情報の正確性に関して考えさせるコラムがあります。このように、3年間のさまざまな学習に関連付けさせて、知識が習得できるように工夫がなされています。

120ページをご覧ください。気象災害に関して、国で示された警戒レベル1～5を大きく示し、線状降水帯にもふれられています。また122ページでは、自宅やそれ以外の場所でも、命を守る行動を、生徒自らとれるように、分かりやすく示された図で、しっかり知識を習得できます。

115ページから119ページで扱っている、心肺蘇生・応急手当の実習資料も、写真・イラストが鮮明で分かりやすくまとめられています。県内の ASUKA モデルにもふれられています。

多様なデジタルコンテンツの活用が用意され、工夫されています。

141ページをご覧ください。二次元コードが3箇所掲載されていますが、資料4では、動画を用いた解説。学習のまとめでは、タブレット上でワークシートの作成。保体クイズにトライでは、クイズ形式で、学習内容の確認ができるようになっています。二次元コードの活用内容が、多岐にわたっていて、さまざまな学習の場面で利用できるようになっています。

最後に、Gakken 教育みらいについて、説明いたします。

基礎的・基本的な学習をもとに授業が展開できる構成になっています。

86ページ、87ページをご覧ください。1時間の学習の流れが「課題の発見」→「学習の課題」→「課題の解決」→「学びの活用」で統一されています。見開き2ページを基本とした

紙面構成になっていますが、この学習項目のように4ページ構成の学習項目も存在します。

「課題の発見」では、生徒にとって身近な事例を扱いながら、その時間に学ぶ内容に自然に導くことができ、「学習の課題」では、わかる・考えるとして、生徒が捉えるべき基礎的・基本的な内容を意識できるようになっています。

章のまとめが充実しており、重要語句の確認、基礎的基本的な知識の習得と、生徒による自己評価を行うことが可能です。また学習内容の活用を促すことができます。

104ページ、105ページをご覧ください。各章末には「探求」などの知識を活用する学習内容が設定されています。学んだことからさらに課題を見つけたり、他の人に伝えたりするなど、多様に設定された探求課題を通して、思考力を深める構成になっていて、深い学びの実現が図られています。

105ページをご覧ください。「章のまとめ」を設け、重要語句の確認を行うことができます。また「振り返ろう」では、この章で学んだ内容を観点別に自己評価しながら理解度を確認できる内容になっています。

二次元コードから、動画や外部ウェブサイト等へ接続でき、学びを広げ、深めるための資料が充実しています。

107ページをご覧ください。各章には「章デジ」とし、二次元コードから、生徒の学びを広げ、深めることに役立つ外部ウェブサイトへ接続でき、課題学習のまとめや、話し合い、振り返りに活用できるワークシートが用意されています。授業の内容や、学習活動に応じて、活用することができるようになっています。

これで、保健体育科の調査研究報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。事務局より補足等ありますか？

事務局

学校調査結果について、目録順に読み上げます。

東京書籍11票、大日本図書2票、大修館書店7票、Gakken0票、以上でございます。

議長

委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。

委員

第18採択地区内の子供にとって、よりふさわしいと思われる発行者を2～3者挙げるとするならば、どこの発行者でしょう。

調査員

長

保健体育科の調査員で教科書の調査研究を行う中で、この地域の子どもたちにとって、よりふさわしいと思われる発行者は、目録順に「東京書籍」と「大修館書店」と考えました。

「東京書籍」の主な理由は、次の2点の特徴があるからです。

1点目は、本文とイラストや写真・資料が、分かりやすいレイアウトで掲載され、配色も見やすく、キャラクターの言葉を用いて、生徒の思考を助けるなど、学習内容を理解しやすくす

る工夫がされています。また、豊富なデジタルコンテンツが用意され、学習の場面に応じて活用することができます。

2点目は、「見つける」「学習課題」では、その時間に学ぶべき内容が、生徒にとっても捉えやすい内容となっており、「課題の解決」では、本文理解に関連する発問が設けられ、これをもとに、基礎的・基本的な内容が習得できる構成になっています。さまざまな活動が用意され、主体的・対話的な学びを実現することができる内容になっています。

「大修館書店」の主な理由は、次の3点の特徴があるからです。

1点目は、各学習項目が、すべて見開き2ページで完結され、導入からまとめに至る学習の流れも3ステップで統一されています。オーソドックスな学習の流れで、生徒は主体的に見通しを持ちながら学習でき、教師も授業が展開しやすい内容になっています。本文の見出しが、その要点として示されているので、この学習で身につけさせたい知識が確実に習得できる内容になっています。また、章のまとめは、学習指導要領で示された評価の3観点で構成されています。

2点目は、多様な学習活動ができるデジタルコンテンツが用意されています。ICTの活用の幅が広がり、思考力・判断力・表現力を高めることができるように工夫されています。

3点目は、保健体育の教科の特性として、今日的な課題・問題に対応できる学習内容が必要とされます。

66ページ、67ページをご覧ください。コロナ禍でさらに低下した子供の体力を高めるために、自ら、主体的に体力の向上計画を考える学習内容が用意されています。また42ページ、43ページをご覧ください。ここでは、性に関しての多様な考え方を示し、正しい知識を習得し、悩みや不安を抱えている仲間がいた際の、正しい対応の方法も学ぶことができます。現在の学習指導要領から加わった「がん」に関する学習内容も大変充実していました。

以上 第18採択地区の子供たちにふさわしいと思われる2者の特徴の報告を終わりにいたします。

議長

ほかに質問はございますか。

議長

それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。

委員

子供達が自分事と捉えていくことが大切だと思いますが、そのためには適切な資料提示が必要だと思います。このような観点からすると、どうでしょう。

委員

子供達が思考しやすい資料として見比べた場合、子供達が考えやすい量と質の資料のバランスが大切だと思います。その視点で見ると、「東京書籍」が良いと思います。

委員

各学校の調査研究結果の報告は「東京書籍」が多いように、「東京書籍」は学習のねらいを

議長

見つける課題解決という理解しやすい紙面構成になっているので、それぞれの学習段階で使いやすい使いやすい教科書になっていると思います。

ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。

議長

次に、技術家庭科の報告をお願いします。

ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。

調査員

長

これから、技術・家庭科の調査結果の報告をいたします。よろしくお願いいたします。

教科書は、技術分野と家庭分野で構成されていますが、併せて一つの教科となっております。従いまして、円滑な学習指導、教科経営を行うためにも、技術分野と家庭分野を同一者の教科書を採択いただきますようお願いいたします。

技術・家庭科では、東京書籍株式会社、教育図書株式会社、開隆堂出版株式会社の発行者全ての教科書につきましてそれぞれの概要と調査資料作成の観点に基づきまして、技術分野、家庭分野の順で御報告いたします。

東京書籍株式会社の技術分野では、豊富な資料や問題解決例、他教科との関連により、指導計画や実態に合わせて学習を深めたり広げたりすることができる教科書になっています。また、技術の見方・考え方を働かせた深い学びになるように、ガイダンスを設置するなど随所で工夫されているほか、技術による問題解決が発達段階に応じて進めることができるようになっています。

家庭分野も、資料や実習例の充実で、指導計画や実態に合わせて学習を深めたり広げたりすることができる教科書になっています。内容や配列など全体にわたり、小学校での学習を引き継いで積み重ね、高等学校へのスムーズなつながりを促す工夫が施されています、また、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されています。

教育図書株式会社の技術分野では、必須の内容が系統的に提示されており、生徒の理解と習得がはかれるように、資料や題材例に富んだ教科書になっています。また、基礎的・基本的な内容は本文で押さえ、別冊「スキルアシスト」は実習の場で助けとなるように工夫されています。

家庭分野では、生徒の興味関心に沿って構成されており、生徒が自分ごととして学びを捉え、生活をよりよくしていく意欲をかき立てることのできる教科書となっています。また、小学校からのつながりや、他教科への広がりなども意識されており、より深い学びが実現できるよう工夫されています。

開隆堂出版株式会社の技術分野では、学習に関連した図等の資料が正確で、生徒の興味・関

心、学習意欲を高める工夫がされています。生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見だし、課題を設定して解決を図る力を身につけることができるように、よく工夫されています。

家庭分野では、本文や内容の理解を助ける科学的な資料として、学習しやすい位置に配置されています。話し合いの活動や思考する活動、意見を述べる活動などさまざまな言語活動ができるように設定されており、学んだ知識や技能を生活にいかすさいに工夫する能力につなげられるように配慮されています

なお、第18採択地区では現在、開隆堂出版株式会社の教科用図書を使用しております。

続いて内容につきまして、ご説明いたします。

東京書籍技術分野「新しい技術・家庭 技術分野 未来を作る Technology」の〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉について説明いたします。

教科書全体を通して、技術の原理・法則や基本的な技術の仕組みについて、本文の内容を裏付ける図などを掲載することで、科学的な根拠に基づく知識が習得されるように工夫されています。また、図や写真と共に学習内容に関連する情報を多数掲載するとともに、他教科との関連についても触れ、知識を深めることができようになっています。

次に、〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉について説明いたします。

見本の20・21ページをご覧ください。それぞれの内容で「問題の発見→課題の設定→設計・計画→製作・育成→評価・改善・修正」が一連の問題解決のプロセスを丁寧に説明しています。「問題の発見と課題の設定」の場面で生徒が考えやすいように工夫されています。また、問題解決までの道筋が見えるデザインになっています。

続いて〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉について説明いたします。

見本の16ページから19ページをご覧ください。教科書全体を通して、生徒が主体的に身の回りの技術などを見つめ、技術の工夫や技術による最適化について考える活動ができるように工夫されています。見本の118・119ページをご覧ください。自分の問題解決の過程を振り返り、粘り強く取り組んだ内容や新たな問題解決に向けての課題などを確認できるように配慮されています。

最後に〈特記すべき教材や教科の特性〉について説明いたします。

技術の見方・考え方を「安全」「環境」「消費者」「防災」などのマークで示し、学習全体を通して、持続可能な社会の構築に寄与する態度が養えるよう配慮されています。見本の86・87ページをご覧ください。「技術の匠」では、技術分野の学習に関係の深い仕事に就いている人たちからのメッセージを紹介し、勤労観・職業観を育むことができるように工夫しています。また、見本の120ページから125ページをご覧ください。問題解決例が複数掲載され、地域や学校の実態に応じて選択して指導できるよう工夫されています。

続いて東京書籍家庭分野「自立と共生を目指して」の〈知識及び技能が習得されるようにす

るための工夫>について説明いたします。

見本の110ページをご覧ください。「学習のまとめ」では、学んだことを確認できるように、その中の「大切な用語の確認」で既習内容に戻り、繰り返し学習する事で知識の定着の工夫がされています。また、実習例が多く掲載され、状況やレベルに合わせて実習を行うことができ、技能の定着が図ることができます。さらに、身に付けさせたい基礎的な知識・技能を「いつも確かめよう」にまとめ、基礎的な知識・技能を確実に習得できるようになっています。

次に、<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>について説明いたします。

見本の6・7ページをご覧ください。「家庭分野の学習の進め方」では、家庭分野の問題解決的な流れを具体例とともに示し、その後の学習や家庭での問題解決に生かすことができるように工夫されています。見本の30ページをご覧ください。学習課題が疑問形になっていることで問題解決的な学習へと結び付くように配慮されています。

続いて<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>について説明いたします。

見本の118・119ページをご覧ください。各節の始めには、目標、始めの活動、学習課題が示され、見通しと課題意識をもって学習が進められるようになっています。また、脚注には「せいかつメモ」が掲載されていて、身近な生活に関わる豆知識について興味を高められるように工夫されています。

最後に<特記すべき教材や教科の特性>について説明いたします。

見本の181ページをご覧ください。住まいの危険についての右上のQRコンテンツが素晴らしく、触れるとその箇所に○印がついて個→グループでの話し合い活動の際にも振り返ることができます。また、見本の50・51ページをご覧ください。一日分の献立作成のQRコンテンツでは数字や献立に苦手意識を持つことなく表やグラフで表示ができ、「やってみよう」と思わせるなど目で生徒の興味を引ける内容のコンテンツが多いです。

続きまして教育図書出版技術分野「明日を創造する」の<知識及び技能が習得できるようにするための工夫>について説明いたします。

学習のまとめ毎に、具体的な実習事例や実験事例が掲載され、体験的な学習を通して知識を深めることができるようになっています。見本の30・31ページをご覧ください。学習の明確化を図るために、「めあて」と「ふり返る」項目が設定されており、具体的な目標を持って学習が行えるように構成されています。また、「キーワード」を各学習項目に設定しており、学習のポイントとして生徒が意識しながら学習することができるように工夫されています。

次に、<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>について説明いたします。

見本の36・37ページをご覧ください。4コマ漫画を利用して、問題を解決の流れがわかりやすくなっています。また、各内容の技術における構想をする場面で、生徒が着目すべき内容を掲載し、生徒が見通しをもって問題解決的な学習を行えるようになっています。

続いて<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>について説明いたします。

教科書全体として、各編に「やってみよう」として、自ら学ぶ、グループで学ぶ問かけが設けられています。また、見本の66・67ページをご覧ください。社会と関連させたサステ

イナビリティの資料を掲載し、社会の問題を自らの問題として主体的に取り組めるように工夫されています。

最後に＜特記すべき教材や教科の特性＞について説明いたします。

ガイダンスで安全をまとめ、安全への意識を高め実習に取り組むことができるようにし、別冊「スキルアシスタント」では、事故防止への配慮がされています。見本の96ページから105ページをご覧ください。実習例では複数の題材を示しており、時間数や技能に応じて選択でき、生徒の習熟度や進度差に対応し指導できるよう工夫されています。さらに技術の役割や影響を理解し、技術のプラス面やマイナス面について、多面的に評価することで、技術を誠実に生かし持続可能な社会を創造できる生徒を育成できるよう様々な資料を配置しています。

続きまして教育図書出版家庭分野「くらしを創造する」の＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞について説明いたします。

重要語句は青のゴシックになっているので分かりやすく、キーワードとして記載されているので、確認しやすくなっています。章ごとにめあてと振り返りが示されていて、学ぶべき内容が身に付いたかどうか確認できるように工夫されています。

次に、＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞について説明いたします。

見本の38ページをご覧ください。導入の「見つめる」を受け、「見つめてみよう」では生徒が自分ごととして捉えて取り組むことで、学習したことと生活を結び付けて考えることができるように工夫されています。また、見本の79ページをご覧ください。各章の「学びを生かそう」の記録レポートは、問題の発見から課題の解決、次の課題へつなげる6つのステップで統一されていて取り組みやすくなっています。

続いて＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞について説明いたします。

見本の115ページをご覧ください。調理実習や製作では「私のアレンジ」が紹介されていて、「自分はこうやってみたい」という意欲が高められるように工夫されています。見本の151ページをご覧ください。「センパイに聞こう!」や「メッセージ」などのコラムで、学んだことを実生活で生かしている様子を紹介することで、自分も実際に生活に生かせる内容になっています。

最後に＜特記すべき教材や教科の特性＞について説明いたします。

献立作成用のQRコンテンツがより細かいものであり、1日分の献立を立てるうえでイメージしやすいコンテンツになっています。また、単元ごとに直接ウェブサイトにつながるQRコンテンツがあり、タブレット学習での反転学習がしやすくなっています。見本の171ページをご覧ください。家庭分野の衣・食・住に関連して災害時の応用の仕方が各単元にちりばめられていて実生活ですぐに実践できる内容が多く見られます。

続きまして開隆堂出版技術分野「技術・家庭 技術分野テクノロジーに希望をのせて」の＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞について説明いたします。

基礎基本の確実な習得とともに、「生活の中での真理」を追究できるようになるために、正確な写真や図解が用意されています。「実験」や「調べ学習」を取り上げ、科学的な根拠を伴

い技術を理解できるように工夫されています。

次に、＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞について説明いたします。

見本の12ページから13ページをご覧ください。ガイダンスのページで技術の見方考え方を取り上げ、各内容で深めるようになっていきます。また、「問題解決の流れ」・「問題の発見と課題の設定」の項目を掲載し、ここまで学習してきた知識をどのように問題発見、課題設定、そして課題解決に活用するのか生徒が理解しやすい内容構成になっています。

続いて＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞について説明いたします。

見本の30・31ページをご覧ください。「学習課題」を通して生徒が授業へ積極的に取り組むように配慮されています。「実験」や「やってみよう」などの活動を通して他者との関わり合いに配慮しています。また、実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見だし、課題を設定して解決を図る力を身に付けることができるように工夫されています。

最後に＜特記すべき教材や教科の特性＞について説明いたします。

全般にわたって、技術の見方・考え方をくり返し「はたらかせる」ことを通して思考パターンを育ませ、教材のワークシートを活用することで個別最適な学習に取り組めるよう工夫されています。全般にわたって問題解決的な学習が無理なく展開でき、系統的な学習が進められるように工夫され、見本の286ページから294ページをご覧ください。その後、様々な技術を組み合わせた、統合的な実習を取り上げ、社会問題に対応するための考え方を深められるよう工夫されています。見本の29ページをご覧ください。環境・共生に関する内容が、個々の学習場面や各内容で取り扱い、学習活動や生活の中で環境や共生を大切にする実践的態度が身につくように配慮されています。また、適切な箇所にQRコードがあり、個別最適な学びが実現できるように工夫されています。

続きまして開隆堂出版家庭分野「生活の土台 自立と共生」の＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞について説明いたします。

写真や図などの資料が大きく、はっきりしていて分かりやすいです。細部も拡大写真などで見やすいように工夫されています。また、見本の245ページをご覧ください。食生活や衣生活の学習において、科学的な根拠に基づいた知識を身に付けられるようになっていきます。

次に、＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞について説明いたします。

全体を通して1問題発見→2課題設定→3計画→4実践→5評価・改善の順で学習が進められるようになっていて、問題解決的に学習に取り組めるようになっていきます。51ページをご覧ください。話し合いの活動や思考する活動、意見を述べる活動などが効果的に設定されています。また観察や実習の際の計画を立てる場面やレポート作成、考察・発表等の場面が学習過程の各所に設定されています。

続いて＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞についてご説明いたします。

90ページにありますように、授業の導入では、生徒の身近な話題を用いながら生徒がそれぞれの学習に興味・関心をもって取り組めるようになっていきます。また、128ページをご覧ください。実習や製作では、大きな写真を掲載することで、生徒の興味を引きつけられるよう

になっています。また、QRコードを読み取ることで動画等を使って手順等を確認でき、主体的に学習に取り組めるようになっていきます。

最後に＜特記すべき教材や教科の特性＞について説明いたします。

見本の98ページから107ページをご覧ください。常に基礎的・基本的な内容の徹底が図られています。また、今の生活に合わせて作業内容や製作内容が記載されており、日常生活から問題を見だし取り組むことができるように配慮されています。見本の158ページから165ページをご覧ください。手ぬぐいの和柄や、和食・和食器と伝統野菜や郷土料理など「和」を意識した内容が多く感じられます。

以上、3つの発行者全ての教科書につきまして、技術・家庭科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。事務局より補足等ありますか？

事務局

学校調査結果について、目録順に読み上げます。

まず技術分野になります。東京書籍6票、教育図書2票、開隆堂9票

続きまして家庭分野になります。東京書籍5票、教育図書2票、開隆堂10票です。

以上でございます。

議長

委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質疑はありますか。

委員

第18採択地区内の子供にとって、よりふさわしいと思われる発行者を2者あげるとするならば、どこの発行者でしょう。

調査員

適した教科書は、開隆堂か東京書籍と本分科会では考えます。

主体的対話的で深い学びにより、教科の目標を達成し、生徒に生きる力をはぐくまなくてはなりません。そのためには、他と関わりながら計画的に問題を解決していくような学習スタイルが必要と考えます。どちらの教科書も一貫して通されているため、この2者をあげました。

議長

ほかに質問はございますか。

議長

それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。

委員

技術分野では、生徒の学習の流れに沿って分かりやすい、見やすい内容構成になっている教科書がよりふさわしいと思います。このような観点からすると、どうでしょう。

委員

生徒の学習の流れに沿った内容構成が大切だと思いますが、その観点で眺め直してみますと、技術分野では「開隆堂出版」が使いやすいと思います。また、自ら課題を解決するため、

議長

美術、保健体育、技術・家庭科の開票結果をご報告いたします。

美術 開隆堂出版 6 票、光村図書 0 票、日本文教出版 0 票

保健体育 東京書籍 5 票、大日本図書 0 票、大修館書店 1 票、Gakken 0 票

技術・家庭（技術分野） 東京書籍 0 票、教育図書 0 票、開隆堂出版 6 票

技術・家庭（家庭分野） 東京書籍 0 票、教育図書 0 票、開隆堂出版 6 票

以上でございます。

それでは、確認致します。

美術科については開隆堂が 6 票ということで過半数を得ましたので、美術科は開隆堂を選定いたします。

保健体育科については東京書籍が 5 票ということで過半数を得ましたので、保健体育科は東京書籍を選定いたします。

技術家庭（技術分野）は開隆堂出版が 6 票ということで過半数を得ましたので、技術家庭（技術分野）は開隆堂出版を選定いたします。

技術家庭（家庭分野）は開隆堂出版が 6 票ということで過半数を得ましたので、技術家庭（家庭分野）は開隆堂出版を選定いたします。

議長

ここで休憩時間をとります。事務局は、会議の再開時刻を連絡してください。

事務局

会議の再開時刻を 15 時 とします。

議長

再開します。英語の報告をお願いします。

ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。

調査員

長

外国語科の調査結果を報告いたします。よろしくお願いたします。

外国語科では、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の 6 つの発行者の教科書があります。各発行者とも学習指導要領に示される外国語における 4 技能 5 領域、「聞くこと、読むこと、話すこと（発表）、話すこと（やり取り）、書くこと」を育成するための言語活動が各単元、また教科書全体を通してバランス良く配置され、各技能や領域を総合的に育成することができるよう構成されています。

6 者共通して各単元のはじめにその単元の目標が示され、生徒に学習の見通しをもたせやすくするとともに、巻末には CAN-DO リストが掲載され、それを用いて生徒が自己の学習を振り返ることで、主体的に学習に取り組む態度の育成が図られるよう工夫されています。6 者とも全単元に QR コードが記され、音声や映像がスマートフォンやタブレット端末などで確認でき、自己学習の補助としても活用できるようになっています。さらに学習指導を進める上で、小中の接続を重視し、発行者間で若干の違いはみられるものの、内容の組織・配列・分量も十分効果的であると思われます。それでは発行者すべての教科書につきまして、発行者番号順にご報告いたします。

初めに、東京書籍です。

東京書籍の教科書は、中学校入学から夏休み前までを小中接続期と位置づけ、単元 (Unit) の扉では「聞く」活動を、Part の最初では小学校で学んだ表現を使った「話す」活動を行い、それらが本文の展開につながっていくなど、小学校での音声による学習から中学校での文字による学習に自然につながられていくよう配列されています。また、1年生では各パートに「小学校の単語」コーナーがあり、小中の接続を強く意識した構成となっています。

主な特徴について、1年の教科書(三人称単数現在形を扱う単元)で説明させていただきます。61ページ、Unit 5をご覧ください。単元構成は、Unit の扉のページで目標を確認し、Preview で音声による Unit の導入として「目的・場面・状況」や新出文法を理解させ、QRコードによる映像で気づきを促します。続いて、Part 1、2で本文の概要を把握しつつ、Practice や Activity で文法の用法を確認し、「知識・技能」の定着を図ります。さらに Read and Think では、Part の内容を補充する英文を「読むこと」に重点をおいて読み取ることで読解力を養い、終末の Unit Activity で学習のゴールを総合的に確認して「思考力・判断力・表現力」の育成を図ります。また Read and Think では、ラウンドリーディング (Round 1 概要・大意の理解、Round 2 詳細理解、Round 3 表現活動へ) に取り組み、読みとったことを「発表」や「やりとり」、「書く」ことにつながられるようになっています。Unit の後には特定の生活場面を扱う Real Life English や単元の文法事項をまとめた Grammar for Communication があったり、2, 3年生では Unit のタイトルが単元を貫く問いになっていたりなど、学習者が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されています。

次に、開隆堂です。

開隆堂の教科書では、Scenes で単元の新出表現について先に慣れ親しんだのちに、Part の本文の内容につなげていく構成が最大の特徴となっています。

主な特徴について、1年の教科書(三人称単数現在形を扱う単元)で説明させていただきます。61ページ、PROGRAM 5をご覧ください。単元構成は、単元 (PROGRAM) の扉のページで単元目標を確認し、次に Scenes でマンガ形式による短い対話情報から新出表現を学習。Tuning in で本文内容に関わる英文を聞き取り本文への導入を行い、Part で本文の内容を把握します。Review では本文内容を振り返り、要点を端的にとらえ、まとめる活動を行います。最後に Action で本文内容から離れ、新出表現を用いられることが想定される自然な場面設定の中で自己表現活動を行いますが、ここでは発表に向けた文章を作成する活動となっています。最初にお伝えしたとおり、習得目標となる新出表現は、各単元の最初の段階に示され、英文の内容は必ずしも本文の内容とは一致していませんが、目標文の理解・定着を図るための活動のページ(例えば62, 63ページ)が独立して設けられていることが特徴的です。複数の単元を通して身に付けた技能を統合的に活用し、協働的な学習でパフォーマンス活動に取り組むプロジェクト型学習 Our Project が年3回、それぞれ5ページの紙面を割いているのも大きな特徴です。さらに、年3回設けられている Coffee Break では、言語の背景として存在する文化的違いなどを取り上げることで、言語に対する興味関心を高め、生徒が主体的に学習に取

り組むことができるよう工夫されています。

次に、三省堂です。

三省堂の教科書は、各単元のとびらで示される単元の目標が身に付けるべき能力として示されるのではなく、単元の最後に行う「目標となる活動」がどのようなものかといった形で示されていることが特徴となっています。

主な特徴について、1年の教科書（三人称単数現在形を扱う単元）で説明させていただきます。67ページ、Lesson 5 をご覧ください。単元構成は、単元の扉のページでどのような場面であるかを把握し、Goal Activity を確認することで学習の見通しをもたせます。Part 1, 2 はそれぞれ Scene 1 と 2 に分かれ、Scene 1 で新出表現の導入・練習を行ってから、Scene 2 でそれらを用いた本文の内容理解に取り組みます。Part 3 は本文の Side Story となっており、短い会話が4コマ漫画で描かれ、既習の表現をスパイラルに学習できるようになっています。さらに Small Talk Plus で Goal Activity に向けての会話活動を行い、最後に Goal Activity で読んだり聞いたりしたことをまとめ発表する複数の技能を統合的に扱った活動で、単元で学習したことを深めます。単元の終わりは Language Focus で目標文法を簡潔にまとめています。単元の後には Take Action が設けられ、日常生活における特定の1場面を取り上げ、4技能5領域のどれか1つの技能の向上を目指した活動が用意されています。次に、100、101ページの Project 2 「理想のロボット選手権」をご覧ください。プロジェクト型学習（年3回）については、複数の技能の統合的な活動に取り組み、思考力・判断力・表現力の育成を意識した内容となっています。また巻末には多くの補助資料が用意されており、指導の場面に応じて補充的な学習にも役立てることができるようになっています。

次に、教育出版です。

教育出版の教科書は、スムーズな小・中接続を掲げ、最初の単元（Springboard 1~6）から46ページの Lesson 2 まで、小学校での学びを振り返りながら中学校の学習に結びつけています。また1年生からSDGsとのつながりを意識したトピックが取り上げられていることが特徴的といえます。

主な特徴について、1年の教科書（三人称単数現在形を扱う単元）で説明させていただきます。59ページ、Lesson 4 をご覧ください。単元構成は、扉のページで単元の目標や写真を示し、単元の内容に関わる簡単な質問で、学習の見通しを立てます。続いて、Part 1, 2, 3 ⇒ Task ⇒ Grammar という学習の基本的な流れがあり、Part 1, 2 は左ページに本文、右ページに新出表現の習得のための活動というようにレイアウトを整えていますが、Part 3 は左右両ページを使って本文の量を増やし、読んだり聞いたりして概要や要点を把握することに重点が置かれています。66ページをご覧ください。Task では本文を振り返り、要点をまとめる活動から、単元の内容を自分のこととして捉え直すことで、自己表現活動に取り組みます。さらに Grammar では、新出文法等をまとめ、復習します。単元の後には Tips として、4技能の1つを扱った活動を通し、英語習得のコツが学べるページが設けられています。

多くの発行者は動詞の過去形の学習時期をおよそ3学期に配置していますが、本教科書は1

学期中の Lesson 3 で扱っています。これは小学校で過去形が指導されていることを受け、早い段階から素地を活用するための工夫となっています。また巻末の Can-Do 自己チェックリストは各学年とも中学校3年間の到達目標が示され、長期的な見通しの中で目標達成度を確かめられるよう工夫されています。

次に、光村図書です。

光村図書の教科書は、本文が1年から3年までひと続きのストーリーから成る点が最大の特徴です。個性豊かな4人の中学生がさまざまな体験をとおして成長していく物語となっており、学習者にとって登場人物に親しみやすく、学びに対する大きな動機づけになると思われます。

主な特徴について、1年の教科書（三人称単数現在形を扱う単元）で説明させていただきます。84ページ、Unit 6 をご覧ください。単元構成は、扉に見開き2ページを割り、単元の目標を確認するとともに、タイトルや絵・写真からストーリーの概要をつかみ、題材への興味づけを図ります。次に Part 1, 2, 3 では、左ページに本文、右ページには新出表現を練習するための活動が複数用意されています。本文については、QRコードを活用し、聞く活動で内容を推測したり、スライドアニメでストーリーの概要理解に取り組んだりします。さらに You're the Writer! や Extra Story のように本文の内容をさらに掘り下げる問いや、コンテンツも用意されており、より深い学びにつなげることができます。右ページの各活動は、言語の習得のプロセスに合わせ、「聞く」「話す」「書く」の順に新出文法等を練習できるよう構成されています。92ページをご覧ください。見開き2ページで Goal となる活動が示されています。これまでの各 Part の学習で理解したことを活用して自己表現活動に取り組むことができます。Goal では、手本となる英文を聞いたり読んだりした後に、自分ごととして話したり書いたりする活動につなげられるよう工夫されています。98、99ページをご覧ください。You Can Do It! では既習単元での学びを活用してプロジェクト型学習に取り組み、思考力・判断力・表現力の向上が図れるよう学期のまとめとして1回ずつ設けられています。

最後に、啓林館です。

啓林館の教科書は、どの Unit、Part、Project においても、例文の提示があってから自己表現活動に向かう流れが一様に見られます。全ての言語活動の構成に技能統合的な機能を意図的にもたせていることが特徴的です。

主な特徴について、1年の教科書（三人称単数現在形を扱う単元）で説明させていただきます。65ページ、Unit 6 をご覧ください。まず扉のページでは、最上段に単元の目標を受信・発信の2つの側面から「…できる」という能力表記で示し、本文への導入となる英文を聞く活動が設けられています。続く Part 1, 2, 3 は、左ページに本文と新出表現、右ページに新出表現を練習するための活動で構成されています。左ページ右上の Enjoy Chatting には、本文の内容に関わる簡単な問いがあり、これをテーマに会話活動を行うことにより即興的に話す力の向上に役立てられます。右ページの各活動は言語の習得プロセスに従い、聞くこと、話すこと、書くことの順になっており、最後に Express Yourself の自己表現活動につながるよう段階的

に設定されています。Part の後には Think & Speak あるいは Think & Write があり、3 つの Step として、Unit で学んだ表現を使ったモデル文を聞いたり読んだりした後に、自分自身の伝えたいことをまとめ、文章を書いたり発表したりするようになっています。次に 96 ページをご覧ください。本教科書も各単元の学びを積み重ね、学期に 1 度のプロジェクト型学習に取り組み、テーマに基づいて長めの英語で発信活動を行います。「好きな人や尊敬する人を紹介しよう」のように、身近なテーマで取り組みやすくなっています。また、Unit の後には Let' s Talk や Let' s Listen 等のページが設けられ、4 技能の向上のための工夫が見られます。

以上、6 つの発行者全ての教科書につきまして、外国語科の報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

議長

ありがとうございました。事務局より補足等ありますか？

事務局

学校調査結果について、目録順に読み上げます。

東京書籍 12 票、開隆堂出版 4 票、三省堂 1 票、教育出版 0 票、光村図書 3 票、啓林館 0 票以上でございます。

議長

委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。

委員

第 18 採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を 2～3 者あげるとするならば、どの発行者でしょう。

調査員

長

外国語の調査員で調査研究を行う中で、第 18 採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者は、「東京書籍」と「開隆堂」と考えました。

「東京書籍」の主な理由は、1 年生のはじめは小学校での学びをもとに、聞くこと、話すことから徐々に文字指導につなげたり、小学校での既習単語をわかりやすく示したりなど、小中の接続を丁寧にはかかられています。また、3 年生の教科書を見ていただくと、お分かりになるのですが、本文で扱う語数が段階的に増やされていて、卒業時には Read&Think などにおいて、相当量の語数によるまとまりのある文章を扱うことにより、高校での学習にも接続がはかかられていると考えます。写真など色彩豊かで各ページが見やすく示され、扱う内容も学年が上がるにつれて SDG' s など世界的な課題にも視野が広がるように構成されていることも、生徒の主体的な学習につながると考えています。巻末資料や二次元コードなど、デジタルコンテンツも充実していて、生徒の授業や家庭学習での取組を補助できると考えています。

また、「開隆堂」の主な理由は、いくつかの単元で学んだ内容を用いて、技能統合型の自己表現活動に取り組む our project が充実している点です。our project は 3 年間を通して 8 回が系統的に配置されています。各回、扉ページを含めて 5 ページの中で、1 つのゴールとなる活動へ向けて 4 技能を用い思考力・判断力・表現力を働かせて、段階的に進めていくような構成となっており、学習者である生徒の視点からも同様の活動を行う際、その手順を活動と共に学

議長	<p>ぶことができるようになっていると考えます。また、東京書籍と同様、学年が上がるにつれてSDG'sなどの社会的な課題へも視野が広げられるよう構成されており、巻末資料やQRコンテンツが豊富な点もあげられると思います。</p>
議長	<p>ほかに質問はございますか。</p>
委員	<p>それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。</p>
委員	<p>子供達の関心が小学校1年生から中学校3年生まで、同じように英語を楽しんでコミュニケーションをとれるようなそういう子供達を育てていかなければならないと思いますが、それには教科書も発展性がある学習テーマや、その年代にあった教材感が必要だと思います。</p>
委員	<p>このような観点から調査員長の説明をふり返ると、どうでしょう。</p>
議長	<p>子供の関心を高めるために、発展性のある学習テーマが必要であるとお話がありました。その視点でもう一度教科書を見直してみますと、その発展性のある学習テーマが考えられていたり、英語を効果的に読む工夫がされていたりする「東京書籍」の教科書が良いと思います。</p>
議長	<p>全学年が同じ構成になっていて、小学校1年生からの学習の見通しが立てやすいのは「東京書籍」だと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は退室してください。委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。</p>
調査員	<p>次に、道徳の報告をお願いします。 ご多用の中での調査ありがとうございました。では、報告してください。</p>
長	<p>令和7年度使用中学校道徳科の教科用図書について、 発行者番号2東京書籍、17教育出版、38光村図書出版、116日本文教出版、224Gakken、232あかつき教育図書、233日本教科書の7者全ての調査結果を報告いたします。</p>
	<p>まず始めに、どの発行者についても、中学校学習指導要領の道徳科の目標に準拠し、『教材』や『資料』が構成されており、色づかいやデザイン、書体等について特別支援教育的な配慮がされてありましたことを先に申し述べさせていただきます。</p>
	<p>その上で、各者の教科用図書の調査結果について、調査票の内容の部分を中心に、特徴的な点を説明させていただきます。調査資料と当該の教科用図書を見ながら、お聞きください。</p>
	<p>はじめに発行者番号2東京書籍ですが、AB版を採用した、各学年1冊の教科用図書です。1年生用教科書を使ってご説明いたします。</p>

〈道徳の目標に関わる工夫〉の一つとして、どの内容項目をどの教材で学習できるのか、各学年の巻頭2ページと巻末192ページに内容項目別の一覧表が配置されており、また、単位時間で、ねらいとする内容項目がぶれないよう、全教材冒頭、具体的には8ページです。に学習のテーマが設定されています。

〈現代的な課題など（の題材を教材として取り上げる上）での工夫〉の一つとして、目次をご覧ください。各学年に「いじめのない世界へ」と「いのちを考える」というユニットが配置されており、複数教材を通して、多面的・多角的にいじめ問題や命の大切さについて考えることができるよう配慮されています。

〈発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫〉として全学年を通して、共通して登場するキャラクターを扱う教材を配置しています。124ページをご覧ください。その中で、一つのできごとに対する複数のキャラクターの立場や思いを通して、生徒が発達の段階に応じて考えを深められるよう工夫されています。124ページには、タマゴマンというキャラクターがいます。このキャラクターが2年生、3年生にも登場します。1年生は「靴」2年生は「あいさつ」3年生は「しあわせ」に登場します。

「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉として各学年巻末の「心情円」を活用することで、話し合いの活動を円滑に行うことができます。また、各教材には「つぶやき」を設定し、考えたことを生徒がメモできるよう配慮されており、メモしたことは話し合いにも活用できます。具体的には10ページをご覧ください。

埼玉に係る資料として、滑川総合高校書道部を取り上げた教材が2学年に掲載されています。

続きまして発行者番号17教育出版ですが、B5版を採用した、各学年1冊の教科用図書です。

1年生用教科書を使ってご説明いたします。

〈道徳の目標に関わる工夫〉の一つとして各教材の冒頭には、学習指導要領に示された4つの視点のどれに該当するかを、色と絵柄で区別したマークがついています。具体的には8ページをご覧ください。あわせて「導入」の問いを設け、教材を通して考えていく道徳的価値を意識づけることができるように配慮されています。

〈現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫〉として各学年で、具体的な生活場面から情報モラルについて考える教材を掲載しています。64ページをご覧ください。教材に続けてコラムを掲載することで、情報機器を通したよりよい人間関係づくりについて、主体的に話し合うことができるように工夫されています。

〈「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫〉として教科書内に適宜、記入欄、例えば29ページ、98ページを設けたり、キャラクターによる発言例を示したり、具体的には22ページ、105ページ、118ページ、自分の考えをまとめ、それをもとに話し合う言語活動を充実させるための工夫をしています。また、役割演技や日常の体験を想起して演じる「やってみよう」を設定し、体験的な学習を通して、道徳的諸価値の理解を生活や習慣に結び付ける工夫がされています。例えば63ページです。

埼玉に係る資料としては、1学年の130ページ「伝えたい味」では、秩父のすまんじゅうづくりについて、3学年の154ページ『旅立ちの日に』は、埼玉県の中学校でつくられ、今全国で歌われている曲に込められた思いについて、掲載されています。

続いて発行者番号38光村図書出版ですが、B5変型判を採用した、各学年1冊の教科用図書です。

1年生用教科書を使ってご説明いたします。

<道徳の目標に関わる工夫>の一つとして、6ページをご覧ください。各学年の「道徳の学習を始めよう」では、1年間の見通しをもって、道徳科の授業に臨めるよう学び方を示しています。また、各教材に設定された「考えよう」、これは14ページ、16ページです。「考えよう」により、教材を通して考えていく道徳的諸価値を意識できるように配慮がされています。

<現代的な課題など(の題材を教材として)取り上げる上での工夫>として、「生命の尊さ」を扱う教材を、各学年3箇所に位置づけ、それぞれの教材で、生命の連続性、有限性、偶発性に触れながら、かけがいのない命を大切にしようという心を育む工夫をしています。

<発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫>として、発達の段階と教材に合わせて、すべての教材に学習のテーマ「考えよう」が設けられ、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されています。また、巻末付録に設けられた「学びの道具箱」180ページをご覧ください。「学びの道具箱」では、学年に応じた思考ツールを紹介しています。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫>として、各学年の後半に位置づけた「まなびをプラス」に「『〇〇』の本質を探ろう」を設けています。160ページをご覧ください。1年生では「感動」の本質、2年生では「尊重」の本質、3年生では「学び」の本質について話し合い、みんなで納得のいく答えを作り上げられる内容となっています。

続きまして発行者番号116日本文教出版ですが、B5版を採用した、読み物教材や活動内容等を示す本冊と、別冊「道徳ノート」の2冊で構成されています。

1年生用教科書を使ってご説明いたします。

<道徳の目標に関わる工夫>として、この教科書の大きな特徴である別冊の道徳ノートは、話し合いなど協働的な学びの積み重ねを記入することができるよう工夫がされており、年間を通して使用することで、自分の成長が実感できるようになっています。

各教材冒頭に「学びのキーワード」、8ページをご覧ください。見通しを持って主体的に授業に臨めるよう工夫されています。教材末尾には、自分の生き方にプラスしたいことを考える「自分にプラスワン」、11ページです。道徳的価値をより深く理解できるようになっています。

<現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫>として、目次をご覧ください。いじめ問題をユニット化し、生徒が自分事として考えられるように工夫されています。いじめを直接的に扱った教材と間接的に考える教材で構成され、より深く、多面的・多角的に考えられるようになっています。

また、ユニット「よりよい社会を考える」が各学年に年間複数配置されており、集中的によ

りよい社会ということについて、多面的・多角的に考えられるようになっていきます。

＜発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫＞として、「学びをを深めよう」、88ページをご覧ください。問題解決的な学習や体験的な学習など流れと資料が示されています。生徒は学びの見通しを持って授業に取り組み、思考の広がりや深まりにつなげることができるように配慮されています。その中の「学びを深めるヒント」、89ページです。では、話し合いの手法や整理方法が示され、対話的・協働的な学びが実現できるようになっています。

続きまして発行者番号224Gakkenですが、AB版を採用した、各学年1冊の教科用図書です。

1年生用教科書を使ってご説明いたします。

＜道徳の目標に関わる工夫＞として、目次をご覧ください。生徒の発達に合わせて、授業を展開できるよう4つの視点に基づいた教材が、適切に配置されています。教材の前に主題名が記されておらず、具体的には10ページをご覧ください。「キーフレーズ」として示すことで、生徒が主体的に課題を発見し、道徳的価値を自覚できるよう工夫されています。

＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫＞として「いのちの教育」を最重点テーマとし、内容項目「生命の尊さ」に関する教材が各学年3教材ずつ掲載されています。また、様々な内容項目で、その尊さに気づくことができる教材が掲載されています。具体的には目次の木の葉のマークがついている教材です。

＜発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫＞として、巻頭の「道徳科で学ぶこと考えること」では、考えを深める4つのステップ、多様な学び方、思考ツールの使い方、ICT活用などを掲載し、深い学びに導く方法、学びの過程や結果を可視化することで、主体的に学びが深められるようになっていきます。また、学年の始めの目標や意欲が書き込める欄、具体的には3ページや、各教材の気づきが記録できるメモ欄、例えば11ページがあり、気づきや学びが可視化され、自らの成長が感じられるようになっていきます。

最後に埼玉に係る教材等が多数掲載されていることも、この教科書の特徴です。例えば、寄居町立男衾中学校に関する128ページや、パラリンピックメダリストの村岡桃佳選手151ページなど、埼玉、深谷や寄居に係る教材・人物が多く掲載されており、生徒の興味関心を高められます。

続きまして発行者番号232あかつき教育図書ですが、B5版を採用した、各学年1冊の教科用図書です。

3年生用教科書を使ってご説明いたします。

＜道徳の目標に関わる工夫＞として、まず目次をご覧ください。重点的に考えたい4つのテーマ、「『いじめ』を考える」「情報モラル」「共に生きる社会」「キャリア」をユニット化している。様々な視点から現代的な課題に対して、対話を通して生徒の思考を深められるような工夫がされている。

＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫＞として、いじめをしない、

させない、見過ごさないために大切な心を育む教材をユニット化し、5、6月に重点的に学習できるように設置し、全学年で継続して学びを広げ、深められるようになっています。

＜発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫＞として、「自主、自律、自由と責任」「思いやり、感謝」「生命の尊さ」「よりよく生きる喜び」を重点項目として、全学年を通してそれぞれ3教材ずつ掲載されています。

＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫＞として、目次をご覧ください。各学年に3か所「マイ・プラス」例えば26ページ、76ページが設置してあり、問題解決的な学習や体験的な学習、役割演技や話し合いなどを取り入れることで、多面的・多角的な視点で想像したり考えたりできる工夫がされています。12ページには大谷翔平のページもあります。

埼玉に係る教材等として、渋沢栄一が2年生、川越市の「時の鐘」が3年生、秩父市が3年生に紹介が掲載されています。

続きまして発行者番号233日本教科書ですが、B5版を採用した、各学年1冊の教科用図書です。

2年生用教科書を使ってご説明いたします。

＜道徳の目標に関わる工夫＞として、まず目次をご覧ください。学習指導要領に示されている4つの視点と22の内容項目順に教材が配置されているため、各学校の年間指導計画に基づいて組み替えたり、その時期の学級の状態によって自由に教材を並び替えたりすることができるよう工夫がされています。

＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫＞として、いじめ問題に真正面から取り扱う直接教材と、いじめにつながりかねない日常の在り方について注目する間接教材の2種類をとりあげており、ダイバーシティ、LGBTなど個性の在り方について考えさせる教材も掲載されています。

＜発達段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫＞として、1年生は「自己理解」、2年生は「自己啓発」、3年生は「自己実現」と、それぞれのテーマに向き合うため、キャリア教育の視点から各学年4～6ずつ、キャリア形成をテーマにした教材が掲載されています。

＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫＞として、巻末に「ウェルビーイングカード」を活用し、自分の意見を伝えやすく、またクラスメートとカードを見せ合うことで、対話しやすい環境を作りやすくする工夫がされています。

埼玉に係る教材等として荻野吟子が2年生に読み物資料として、また渋沢栄一が159ページに写真と紹介が掲載されています。

議長

各者の教科用図書についての説明は以上です。

事務局

ありがとうございました。事務局より補足等ありますか？

議長	<p>学校調査結果について、目録順に読み上げます。</p> <p>東京書籍 5 票、教育出版 1 票、光村図書 1 票、日本文教出版 2 票、Gakken 1 票、あかつき教育図書 8 票、日本教科書 0 票、以上でございます。</p>
委員	<p>委員のみなさん、ただいまの調査員長による説明・報告に対して、質問はありますか。</p>
調査員長	<p>第 18 採択地区内の子供たちにとって、よりふさわしいと思われる発行者を 2～3 者あげるとするならば、どの発行者でしょう。</p>
	<p>深谷市、寄居町の生徒が使用するにあたり、敢えて挙げるとすれば、発行者番号 2「東京書籍」、224「Gakken」、232「あかつき教育図書」の 3 者が挙げます。</p> <p>いずれの教科書も、今回の調査に係る諸観点について、他者同様、多様な工夫がされておりました。</p> <p>その中で専門員からは、「東京書籍」については、「教材冒頭の学習テーマの設定」、各教材中「つぶやき」のメモ欄、教材末の「ぐっと深める」、巻末の「切り取り式の心情円」、「工夫された内容項目別の一覧表」等、「Gakken」については、「キーフレーズ」、「話合いが活性化するような発問」や、「気づきを喚起する記述」、「気づきや考えを書き留める記入欄」が設けられ、「考えを深める 4 つのステップ」、特設ページ「クローズアップ」、埼玉県に係る教材数多く掲載されていること等、どちらも、生徒が学びを深めるための、独自の多様な手立てが用意されている、生徒や教員にとっても、使いやすい教科書であると考えました。</p> <p>「あかつき教育図書」については、令和 6 年度現在、第 18 採択地区で採択されている教科書であり、なじみのある教材が数多くあり、教員にとってもとても使いやすい教科書であるという意見が出されました。</p>
議長	<p>以上の理由で、「東京書籍」、「Gakken」、「あかつき教育図書」の 3 者を挙げます。</p>
議長	<p>ほかに質問はございますか。</p>
委員	<p>それでは、これまでを踏まえて協議に入ります。ご意見等お願いします。</p>
委員	<p>とても分かりやすく御説明いただいて、どの教科書も工夫されていて素晴らしいと思いました。その中で重点的に考えなければならないテーマがありまして、ますます道德教育を頑張っていかなければなりません。学習をさらに深めて、子供達が自主的に考えて、道德的価値を自分で身に付けられるようにするためには、やはり教師の問いかけや発問が大事だと思います。</p>
委員	<p>このような観点から考えると、どうでしょう。</p> <p>学習のめあてが提示され、学びを促す問いで学習を深められるということで見直してみますと、「あかつき図書」や「東京書籍」が該当すると思います。</p>

委員	<p>問いという視点から、子供達が考え議論するという視点では、Gakken は主題名が記載され ておらずキーフレーズであり、道徳性を育成する工夫として4つのステップを使って問題解 決、学習の手立てを示しているので、考えが深められると思いました。</p>
議長	<p>「あかつき教育図書」では、各学年で「マイプラス」のページが設けられており、生徒が様々 な立場で想像したり考えたりできるよう工夫されていると思いました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ここで、協議を打ち切ります。調査員長は 退室してください。 委員の皆様は、メモ用紙にご記入ください。</p>
議長	<p>それでは、投票を行います。事務局は準備願います。</p>
事務局	<p>それでは、開票結果について、事務局から報告願います。</p>
議長	<p>開票いたします。 英語 東京書籍 道徳 あかつき教育図書 英語 開隆堂 道徳 あかつき教育図書 英語 東京書籍 道徳 あかつき教育図書 英語 東京書籍 道徳 あかつき教育図書 英語 東京書籍 道徳 東京書籍 英語 東京書籍 道徳 あかつき教育図書、以上でございます。</p>
事務局	<p>開票結果について、事務局から報告をお願いします。</p>
議長	<p>英語、道徳の開票結果をご報告いたします。 英語 東京書籍 5 票、開隆堂 1 票、三省堂 0 票、教育出版 0 票、光村図書 0 票、啓林館 0 票 道徳 東京書籍 1 票、教育出版 0 票、光村図書 0 票、日本文教出版 0 票、Gakken 0 票、あ かつき教育図書 5 票、日本教科書 0 票 以上でございます。</p>
議長	<p>それでは、確認致します。 英語科は東京書籍が 5 票ということで過半数を得ましたので、英語科は東京書籍を選定いた します。 道徳科はあかつき教育図書が 5 票ということで過半数を得ましたので、道徳科はあかつき教 育図書を選定いたします。 では、全教科について、確認します。</p>

議長	<p>国語 (教育出版)</p> <p>書写 (教育出版)</p> <p>社会 (地理) (東京書籍)</p> <p>社会 (歴史) (東京書籍)</p> <p>社会 (公民) (東京書籍)</p> <p>地図 (帝国書院)</p> <p>数学 (啓林館)</p> <p>理科 (教育出版)</p> <p>音楽 (一般) (教育芸術社)</p> <p>音楽 (器楽) (教育芸術社)</p> <p>美術 (開隆堂出版)</p> <p>保健体育 (東京書籍)</p> <p>技術家庭 (技術) (開隆堂出版)</p> <p>技術家庭 (家庭) (開隆堂出版)</p> <p>英語 (東京書籍)</p> <p>道徳 (あかつき教育図書) となりました。</p>
議長	<p>メモ用紙を回収させていただきます。</p> <p>長時間にわたり、熱心な協議ありがとうございました。皆様の御協力により、円滑に議事を終了することができました。</p> <p>以上をもちまして、協議を終わりにします。議長の任を解かせていただき司会を事務局にうつします。</p>
事務局	<p>会長様、ありがとうございました。</p> <p>今後の日程について、事務局より連絡いたします。</p>
事務局	<p>本日の協議結果については、後日各教育委員会へ第18採択地区教科用図書採択地区協議会長名で改めて、報告いたします。</p> <p>深谷市、寄居町それぞれにおいて、報告を受け、採択に係る教育委員会の準備をお願いいたします。</p> <p>教育委員会において採択された教科用図書については、速やかに採択地区協議会事務局へ報告いただきます。深谷市、寄居町の2市町共に、採択地区協議会で選定した教科用図書がそれぞれの教育委員会で採択された時点で、第18採択地区における教科用図書の採択決定となります。</p>
事務局	<p>閉会のことばを、事務局 が申し上げます。</p>
事務局	<p>以上で、令和6年度第2回第18採択地区教科用図書採択地区協議会を終了いたします。</p>